

県立長野図書館概要

令和 5 年（2023 年）4 月



県立長野図書館

目次

I 令和 5 年度事業

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～	1
2 取組方針等	2
3 主要事業計画	3
4 組織及び事務分掌	4
5 予算	5

II 令和 4 年度事業実績

1 事業概要	7
2 展示・企画展の実施	8
3 調査相談の状況	12
4 市町村立図書館等との協働、支援	14
5 フォーラム・研修会の開催	17
6 信州・学び創造ラボ	20
7 電子書籍サービス	22
8 新型コロナウイルス感染症への対応について	23
9 令和 4 年度主要事業実施状況（図書館協議会資料から）	24

III 統計資料（令和 4 年度実績）

1 利用状況	30
2 図書館資料の状況	36

IV 県立長野図書館協議会

38

V 資料

1 長野県の図書館等設置状況	39
2 県立長野図書館の沿革	40
3 施設概要	42
4 利用案内	43

I 令和 5 年度事業

1 「共知・共創の広場」～県立長野図書館の使命～

2021 年 7 月 16 日裁定

県立長野図書館

使 命 (Mission)

県立長野図書館は、「共に知り、共に創る広場」として、
信州に関わるすべての人々が「自由に考え、意見を表明し、社会に参画し、意思決定することで、
個人と社会の幸福を追求する」という、民主的社会的な普遍的な価値を支えるため、
人類社会の文化的な発展と平和な世界に、将来にわたって寄与しつづけます。

展 望 (Vision)

- ① 「知る」…情報の改革：いつでもどこからでも、時間と空間を越えて、すべての人々が等しく情報入手し、活用し、成果を発信できるよう、人生を豊かにする創造的な学びの情報基盤を整え、情報格差を解消し、次世代へと継承していきます。
- ② 「出会う」…場の革新：考え、対話し、体験することを通じて獲得できる「実感ある知」の循環を生み出し、新しい価値を創り出すために、実空間と情報空間が融合する、開かれた場を形成します。
- ③ 「育む」…人の変革：いかなる社会変化にあっても、「知る自由」「学ぶ自由」を保障する図書館の本質的機能を、技術革新を取り入れながら最適化し、最大限活用できる人づくりに貢献します。

行動指針 (Value)

- ① 協働します：（Collaboration コラボレーション）
県内外の図書館や各種の文化施設・社会教育施設を始め、広く教育・学术界、産業界や社会的活動を行う人々と力を合わせます。
- ② 接続します：（Connecting コネクティング）
さまざまなコミュニティや人々が信州の自然や社会の営みの中で日々生み出す、「現場にある知」、「暮らしの中の知」を、つなぎ合わせます。
- ③ 強みを生かします：（Competency コンピテンシー）
図書館の普遍的な役割である資料・情報の収集・保存・発信・活用について、専門的な知識・スキル・マインドを持つ職員を育成し、強みを生かして社会に貢献します。
- ④ 挑戦します：（Challenge チャレンジ）
市町村や公共図書館等の取組を下支えし、展開するとともに、自ら先進的なサービスを実験・実践することを通じて、人々と共に成長し、変化に強い図書館づくりに挑戦しつづけます。

2 取組方針

図書館は、「ミッション・ビジョン」に則り、県が設定する各種計画における位置づけに沿って館を運営し、事業を展開する。

令和5（2023）年度～9（2027）年度に取り組む主な計画では、「信州ナレッジスクエア」「電子図書館（電子書籍サービス）」の活用が明記され、関連機関との連携によって、資料・情報の充実、空間の提供、人材育成を行うこととしている。

● 「長野県総合5か年計画」しあわせ信州創造プラン3.0

～大変革への挑戦 「ゆたかな社会」を実現するために～

- ・ デジタル実装による地方の課題解決
- ・ 歴史や文化芸術に興味関心をもつタッチポイントの充実
- ・ 生涯を通じて学ぶことができる環境の創出

● 「第4次長野県教育振興基本計画」個人と社会のウェルビーイングの実現

～一人ひとりの「好き」や「楽しい」、「なぜ」をとことん追求できる「探究県」長野の学び～

- ・ 生涯を通じて学ぶことができる環境づくり

● 「第2次長野県文化芸術振興計画」

～文化芸術の 価値を高め、支える、ひろげる、つなげる、信州のゆたかな未来～

- ・ 多様な分野における文化芸術の活用
- ・ 地域の文化芸術の推進力の強化
- ・ 地域の伝統文化の保存・活用

※ この他、「子ども・若者支援総合計画」、「自殺対策推進計画」、「過疎地域持続的発展計画」等にも位置付けられている。

計画に沿って取り組む

令和5年度取組方針

1. 資料・情報

いつでも・だれでも・どこからでも、県民が生涯にわたり「知る・学ぶ」ための「資料・情報」を、収集・保存・活用・発信できる情報基盤を安定運用し、紙とデジタルの特徴を生かした蔵書構築を進めます。

2. 空間・場

実空間である図書館の1～2階のフロア、3階の「信州・学び創造ラボ」を情報空間とつなぎ、それぞれの強みを生かし、融合させながら、日常的に知的活動が展開・循環する「場」を創出します。

3. 人材育成

潜在的な利用者を含めた、全ての県民の学び合い・知的な活動を支えるために、市町村図書館を始め、文化施設・教育機関、県内外の関心を共有するすべての人々と協働し、共に成長していきます。

4. 長野県 eLibrary 計画

図書館のさまざまな機能・サービスについて、それぞれ最適な方法でデジタル化・ネットワーク化を進めます。特に「信州ナレッジスクエア」の拡充と、電子書籍サービスによる学校との連携、地域資料のデジタル化・発信、読書バリアフリーを重点的に進めます。

3 主要事業計画

(1) 資料・情報

- ア 長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料（郷土資料）を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」とを戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担をし、蔵書構築を進める。
- イ 利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身につけることを促す調査・相談（レファレンス）を実施する。国立国会図書館が運営する「レファレンス協同データベース」に事例を登録することで、調べ方を発信していく。
- ウ 情報アクセス環境の地域間格差是正のため、相互貸借送料支援および全県向けインターネット貸出を実施し、普及させる。
- エ 収集した資料を県民が利用し、さらなる資料を「創造」していく支援を行う。

(2) 空間の整備と、それに伴う活動の推進

- ア 「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」において、県民の主体的活動と学びのコミュニティづくりを促し、これからの公共空間や新たな学びのモデル構築を図る。
- イ 試行錯誤ができるツールとして「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな創造の仕組みを拡げていく。
- ウ 実空間と情報空間を融合させ、ICTを活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。
- エ 図書館を、新しい出会いと発見が促される場と捉え、1階児童図書室・2階一般図書室における新しい発見・学びのプログラムを展開する。

(3) 各県域・分野における県民の学びを支える人材育成支援

- ア 司書としての役割を果たす人材の育成として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組み、各館の運営に生かす「これからの公共図書館研究会」を開催する。
- イ 広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援（企画相談、講師派遣・紹介等）や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域の活動を後押しする。
- ウ 広く社会教育に関わる分野や全国の取り組みを俯瞰したテーマ設定のもと、県民の学びを創発する機会として「信州発・これからの図書館フォーラム」等を開催する。
- エ 信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識化・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげることを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。
- オ 全国の人々が集いこれからの児童・青少年サービスを検討する場として「全国公共図書館研究集会 児童・青少年部門」を開催する。

(4) 「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進

- ア 図書館機能の高度化の方策として、県内各種機関所蔵情報のデジタル化・公開支援、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化と、これらを融合し使いこなす学びを推進する。
- イ 自ら学び、調べるためのコンテンツとして、地域資料（郷土資料）を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」のコンテンツを拡充するとともに、長野県で生産される知的生産物を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。
- ウ 市町村と県による協働電子図書館「デジとしょ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」によって、読書バリアフリー、学校と連携した活用、地域資料（郷土資料）の電子化・公開を進める。

4 組織及び事務分掌

(1) 職員の現員調（令和5年4月1日現在）

※ 令和2年度から非常勤職員は会計年度任用職員に移行した。

区分	常勤職員											非常勤※	総数	摘 要
	館長	副館長	課長	補佐	係長	専門幹	主幹	主査	主任	主事	計			
員 数	1	1	1	1	2	1	0	3	5	7	22	16	38	主事7のうち任期付2(司書2)、 臨任2(司書1) ※会年職員(司書) フル8・パート7
うち司書資格	1	0	0	0	2	0	0	2	3	5	13	15	28	

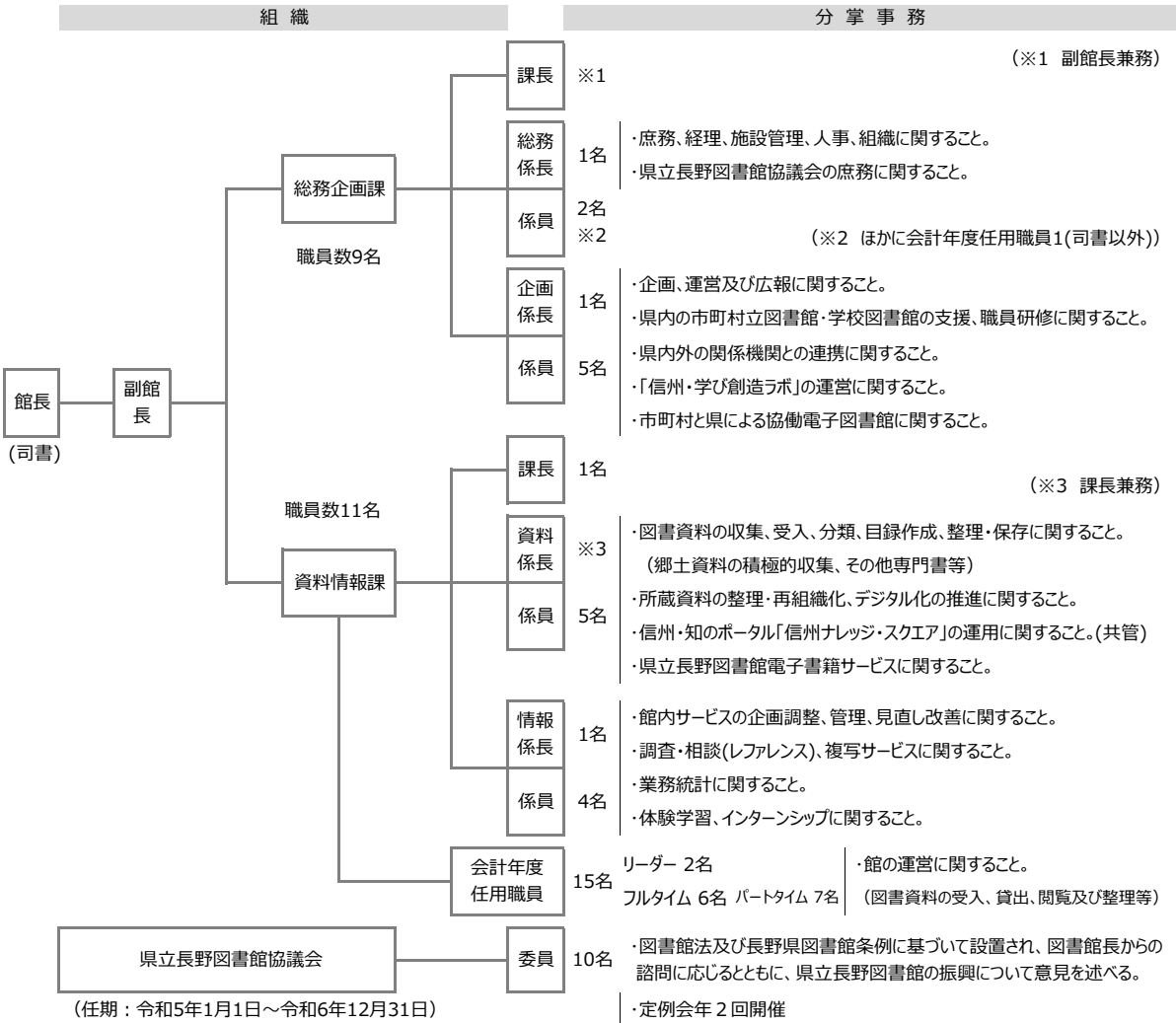
(司書資格は定数配置要件ではなく、配置現職職員の属人的なものを含んでいる。)

(2) 職員数の推移（過去15年間）

		H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5
常勤職員	員 数	24	24	22	24	24	24	23	23	21	20	21	21	20	21	21	22
	うち司書有資格	12	12	10	11	10	10	9	9	9	9	9	9	12	13	13	13
非常勤※	員 数	11	12	12	12	12	12	12	12	14	14	13	15	18	16	16	16
	うち司書有資格	8	10	10	12	11	11	11	12	14	14	13	14	17	15	15	15
計	総 数	35	36	34	36	36	36	35	35	35	34	34	36	38	37	37	38
	うち司書有資格	20	22	20	23	21	21	20	21	23	23	22	23	29	28	28	28

増減	単年度	常勤職員	0	0	-2	2	0	0	-1	0	-2	-1	1	0	-1	1	0	1
		うち司書有資格	0	0	-2	1	-1	0	-1	0	0	0	0	0	3	1	0	0
		非常勤職員※	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	-1	2	3	-2	0	0
		うち司書有資格	0	2	0	2	-1	0	0	1	2	0	-1	1	3	-2	0	0
		総 数	0	1	-2	2	0	0	-1	0	0	-1	0	2	2	-1	0	1
	累積（H20比）	うち司書有資格	0	2	-2	3	-2	0	-1	1	2	0	-1	1	6	-1	0	0
		常勤職員	0	0	-2	0	0	0	-1	-1	-3	-4	-3	-3	-4	-3	-3	-2
		うち司書有資格	0	0	-2	-1	-2	-2	-3	-3	-3	-3	-3	-3	0	1	1	1
		非常勤職員※	0	1	1	1	1	1	1	1	3	3	2	4	7	5	5	5
		うち司書有資格	0	2	2	4	3	3	3	4	6	6	5	6	9	7	7	7
	総 数	0	1	-1	1	1	1	0	0	0	-1	-1	1	3	2	2	3	
		うち司書有資格	0	2	0	3	1	1	0	1	3	3	2	3	9	8	8	8

(3) 組織及び事務分掌（令和5年4月1日現在）



5 予算

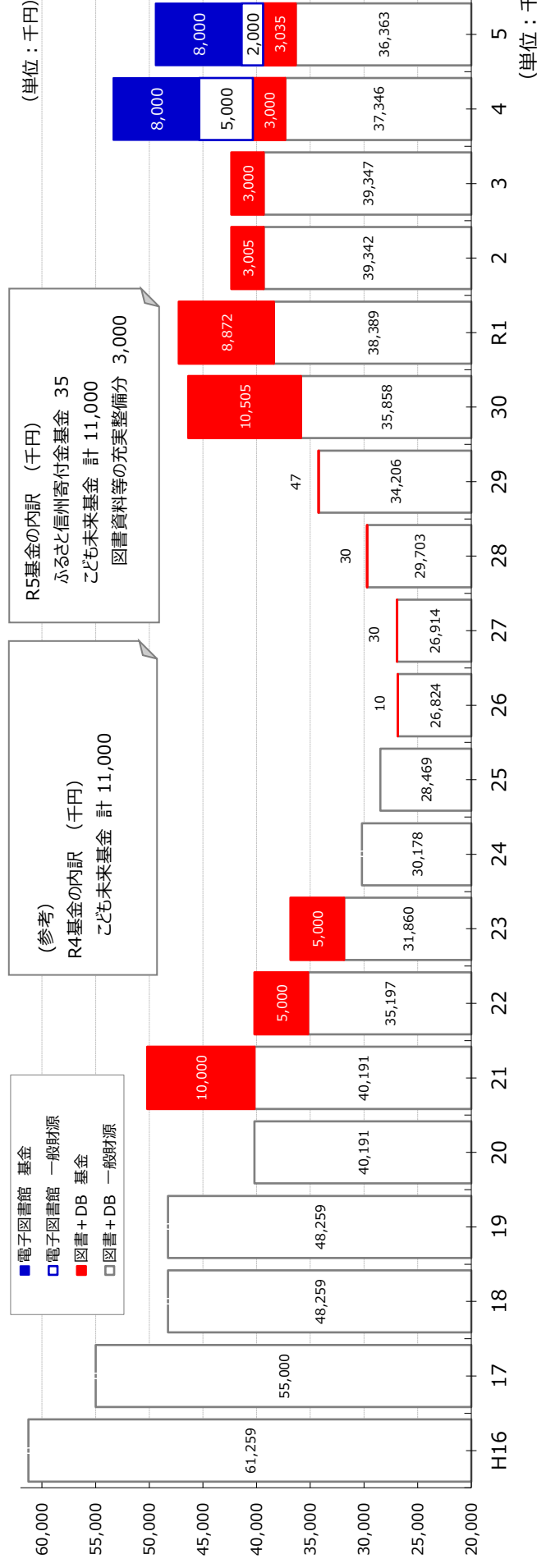
(1) 令和5年度図書館予算

(単位：千円)

区 分	項 目		令和5年度	令和4年度	増 減
管 理 運営費	人件費 (会計年度任用職員（司書）)		46,385	44,525	1,860
	庁舎管理委託		17,054	16,321	733
	光熱水費等		25,196	15,112	10,084
	計 ①		88,635	75,958	12,677
コンピューター 管理費	システム/コンピューター借上等 ②		28,052	30,245	△2,193
図 書 館 事 業 費	図 書 館 資 料 の 充 実	一般図書	29,564	30,071	△507
		児童図書（学校支援を含む）	2,000	2,000	0
		新聞雑誌等	4,100	4,600	△500
		データベース	3,734	3,675	59
		電子図書館コンテンツ使用料	10,000	13,000	△3,000
		図書館資料費計	49,398	53,346	△3,948
	貸出図書郵送料		2,665	2,532	133
	フォーラム・研修会費		1,205	1,140	65
	業務用機器借上等		3,139	3,139	0
	「信州・学び創造ラボ」整備・運用		6,060	6,060	0
	電子図書館初期設定費・システム改修費		0	2,978	△2,978
	電子図書館プラットフォーム使用料		1,936	2,600	△664
	所蔵資料デジタル化委託費		2,772	0	2,772
	その他		803	777	26
	図書館事業費計 ③		67,978	72,572	△4,594
積 立 金	基金積立金 ④		1	1	0
合 計（①＋②＋③＋④）			184,666	178,776	5,890

		令和5年度	令和 4 年度	増減
	市町村分担金 ⑤	26,000	20,000	6,000
	総合計（合計＋⑤）	210,666	198,776	11,890

(2) 図書購入費(予算額)の推移



	年度	H16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	3	4	5
図書 + DB	一般財源	61,259	55,000	48,259	48,259	40,191	40,191	35,197	31,860	30,178	28,469	26,824	26,914	29,703	34,206	35,858	38,389	39,342	39,347	37,346	36,363
	コ－ラル（青年の船）						10,000	5,000	5,000												
	図書館充実												10	30	47	5	5	5			
	子ども未来（企業局）															10,000	3,037	3,000	3,000	3,000	3,000
	栗本基金																5,830				
	ふるさと信州寄付金															500					35
	基金計	0	0	0	0	0	10,000	5,000	5,000	0	0	10	30	30	47	10,505	8,872	3,005	3,000	3,000	3,035
	小計	61,259	55,000	48,259	48,259	40,191	50,191	40,197	36,860	30,178	28,469	26,834	26,944	29,733	34,253	46,363	47,261	42,347	42,347	40,346	39,398
電子 図書館 (※)	一般財源																			5,000	2,000
	基金																			8,000	8,000
	小計																			13,000	10,000
	合計	61,259	55,000	48,259	48,259	40,191	50,191	40,197	36,860	30,178	28,469	26,834	26,944	29,733	34,253	46,363	47,261	42,347	42,347	53,346	49,398
	前年増減		△6,259	△6,741	0	△8,068	10,000	△9,994	△3,337	△6,682	△1,709	△1,635	110	2,789	4,520	12,110	898	△4,914	0	10,999	△3,948
	(%)		△10.2	△12.3	0.0	△16.7	24.9	△19.9	△8.3	△18.1	△5.7	△5.7	0.4	10.4	15.2	35.4	1.9	△10.4	0.0	26.0	△7.4

※電子図書館の令和5年度は、一般財源・基金とも当館の電子書籍サービス（KinoDen）のコンテンツに配当。（市町村と県による協働電子図書館県負担分はなし。）

このほか、企業版ふるさと納税による寄付あり。和4年度は株式会社ナゴウェブ様の御寄附により1階エントランスホールに設置する大型ディスプレイを、株式会社Q.E.Dパートナーズ様の御寄附で郷土資料を、令税理士法人吉本事務所様・正モバイル株式会社の御寄附で「KinoDen」のコンテンツを整備。

Ⅱ 令和4年度事業実績

1 事業概要

(1) 利用状況

開館日数 入館者数 (日平均)	計 283日 287,332人 (1,015)	平日 175日 158,219人 (904)	土・日曜日 97日 115,734人 (1,193)	祝日 11日 13,379人 (1,216)
資料の個人貸出	計 99,261冊	一般図書 41,651冊	児童図書 57,610冊	
相互貸借	計 4,134冊	貸出 3,759冊	借受 375冊	
調査相談 (レファレンス)	計 5,394件	電話 2,415件	口頭 2,575件	メール他 404件
登録者	累計登録者数 100,456人	新規登録者数 3,775人		

(2) 図書資料等の状況

ア 所蔵資料

図書	計 759,988冊	一般図書 554,693冊	児童図書 98,324冊	郷土図書 106,971冊
フィルム等	マイクロフィルム 10,283リール	16ミリ映画フィルム 2,260本	ビデオ・DVD 3,215本	

※一般図書、児童図書は、外国語資料を含めた冊数。

イ 図書資料の購入等

	計	一般図書	児童図書	郷土図書
購入	8,535冊	6,272冊	1,304冊	959冊
寄贈等	4,369冊	1,546冊	85冊	2,738冊
除籍	56冊	11冊	23冊	22冊
計	12,848冊	7,807冊	1,366冊	3,675冊

ウ データベース

14タイトルのデジタル化情報を提供

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| ① 信濃毎日新聞社「信濃毎日新聞データベース」 | ⑧ 農山漁村文化協会「ルーラル電子図書館」 |
| ② 朝日新聞社「朝日新聞クロスサーチ」 | ⑨ ネットアドバンス「ジャパンナレッジLib」 |
| ③ 日本経済新聞社「日経テレコン」 | ⑩ ジー・サーチ「JDreamⅢ」 |
| ④ 第一法規「D1-Law法情報総合データベース」 | ⑪ 読売新聞社「ヨミダス歴史館」 |
| ⑤ 国立印刷局「官報情報検索サービス」 | ⑫ 毎日新聞社「毎案」 |
| ⑥ 国立国会図書館デジタルコレクション | ⑬ 日本統計センター「市場情報評価ナビMieNa」 |
| ⑦ 信州デジタルcommons（旧・信州デジくら） | ⑭ 中日新聞社「中日新聞・東京新聞記事データベース」 |

2 展示・企画展の実施及びインターンシップ等の受入状況

(1) 企画・展示

内容	実施期間・場所	概要
岩波文庫コレクション	R4.4月～ ナレッジラボ	岩波書店創業者・岩波茂雄の出身地が長野県であることから、藤村浩平氏のご子息より寄贈された。 収集されていた図書約8,000冊をナレッジ・ラボで常設展示。
ひゃっか王	R4.4月～7月20日 児童室・ナレッジラボ	小・中学生を対象とした「調べる楽しさ」を体験してもらうイベント。 『総合百科事典ポプラディア』を使用した、2部構成の図書館「なぞ解き」イベントを開催。 (株式会社ポプラ社のプログラムと連携)
夏休み特別企画 「ナツとしよ2022」 図書館ウラガワ探検隊	R4.7月30日～8月4日 書庫・整理室 午後1回開催	玄関ロビーに集合し、図書館職員の案内で普段は立ち入ることのできない図書館のバックヤードの見学を実施。
図書館攻略大作戦	R4.8月2日～4日 1階児童図書室 午後1回開催	スタンプラリー形式の、手と足と頭を使って図書館内の機能と資料を探検するゲームを実施。
「情報をうみだす」POP展示	R4.10月6日～31日 2階一般図書室	職場体験学習の一環として生徒が選んだ本の紹介。 テーマを決め選書した5冊の本からPOPを作成。 より多くの本を手にとってもらうための手段として、いかに情報を伝えられるかを考えた展示。
信州の「はたらく」を考える	R4.10月15日～11月 2階一般図書室 3階信州学び・創造ラボ	信州発・これからの図書館フォーラム 「信州の「はたらく」を考える」に関連する展示。 「はたらく」を考え、仕事やこれからのキャリアのヒントになりそうな本を選書し、本棚やコーナーを設置。
研究成果発表パネル& 関連資料展示	R4.12月6日～20日 2階一般図書室 ナレッジラボ	一般財団法人長野県科学振興会が毎年行っている「科学研究費助成金」を受けた研究成果のパネル展示と、各テーマを概観することができる図書館所蔵の資料を展示。
信州情報探索ゾーン	R1.4月～ 3階信州学び・創造ラボ	110年にわたる信州の知の営みを感じられるように、県立長野図書館の前身である信濃図書館時代の蔵書資料や、戦時中に検閲処分を受けた資料等を展示。

(2) 児童図書室ゾーン展示

区分	内 容	実施期間
展 示 1 マ	「?のついている本」 なんで? どうして?の本	R4.4月～5月
	「ほんとにいるの?」 畏怖の念	R 4.6月～9月
	「届いていますか?」	R 4.10月～12月
	「伝える・思い」	R 5.1月～
展 示 2 マ	「ねがいのかたち」	～R4.4月28日
	「児童文学作品、受賞作品展示」	R4.4月29日～5月
	「届いていますか?」	R 4.10月～
展 示 3 マ	「児童文学作品、受賞作品展示」	R4.4月29日～5月
	「地域で比べる」 長野県内で地域差のある文化を比較	R 4.6月～8月
	「コトバ」 県内、全国の方言に焦点をあてる	R4.9月～11月
	「神・信仰・神社」	R4.12月～
動 く 本 棚	「一目でわかる」	R4.4月～5月
	「夏の虫」	R4.6月～7月
	「ハローディア・エネミー」	R4.8月
	「お年寄り」	R4.9月
	「夜・ハロウィン」	R4.10月
	「アート」	R4.11月
	「クリスマス」	R4.12月
	「お正月」	R 5.1月
	「節分・恋、バレンタイン」	R 5.2月1日～14日
	「ひな祭り、ひめ」	R5.2月15日～R 5.3月3日
9 類展示	「しんぱくすう×ほん」	R5.1月～
	読書感想文コンクール	R 4.7月～8月
	自由研究	R 4.7月～8月

(3) 一般図書室ゾーン展示

区分	内 容	実施期間
の 信 記 州 す 憶 の る を 暮 記 ら 録 し	御柱②	R4.7月～9月
	「子どもころの古正月行事」	R3.10月～R4.2月
	「伝統工芸品」(国指定)	R3.3月～
は ま た な ら ぶ く ・	SDGs	R3.7月～R4.6月
	「働き方を考える」	R4.7月～
	「食彩信州」①～④	R4.4月～
自然とからだ	「介護コーナー」/「がんコーナー」	R3.10月～

(4) ブック・スプラウト

※ブック・スプラウトとは…新しい視点（発想の新芽）で蔵書を紹介するコーナー

区分	内 容	実施期間
し 信 記 の 州 録 の 記 す の 憶 る を ら	1期 「長野の本事情」	4月～6月
	2期 「信州をまわる／記憶をたどる【道】」	7月～9月
	3期 「信州をまわる／記憶をたどる【道×文化人編】」	10月～12月
	4期 「信州をまわる／記憶をたどる【道×祈り編】」	1月～3月
ど 私 き た た か か ら は	1期 「Transition×変わり目」	4月～6月
	2期 「歴史研究の水平思考」	7月～9月
	3期 「少女小説からジェンダーを考える」	10月～12月
	4期 「私たちの境界」	1月～3月
は ま た な ら ぶ ・	1期 「ファクトチェッカーSNSの情報は正しい？ー」	4月～6月
	2期 「林業の未来」	7月～9月
	3期 「古くて新しい和菓子の世界」	10月～12月
	4期 「これまでの100年／これからの100年」	1月～3月
か 自 ら 然 だ と	1期 「過去が示す未来」	4月～6月
	2期 「オトナだって自由研究」	7月～9月
	3期 「いきもの ちから わざを とりこんだ！！」	10月～12月
	4期 「健康であるために」	1月～3月
音・ 身 体 こ と ば ・	1期 「タイトル発⇒？本ー言葉っておもしろい」	4月～6月
	2期 「平和へのアプローチ」	7月～9月
	3期 「美術室」	10月～12月
	4期 「裏＞メイン」	1月～3月

(5) 視察・見学等

期 日	期 間	人数	相手先	目 的
4月12日～随時	1 日	66	信州大学工学部建築学科	図書館見学
4月21日	1時間	2	信州大学附属図書館	図書館見学
5月20日	1時間	1	松川町図書館	図書館見学
6月17日	1時間	20	総合教育センター学校図書館研修	図書館見学
6月21日	1時間	1	屋代高等学校附属中学校	探究学習 フィールドワーク
6月21日	2時間	15	愛知県蒲郡市公共施設マネジメントチーム	図書館視察
6月24日	1時間	5	風越学園	モノトベース視察
7月9日	2時間	15	(公社) 日本山岳会	図書館視察
7月13日	5 時間	10	小千谷市図書館市民ワークショップ	図書館視察・利用
7月15日	0.5時間	2	栃木県議会議員	図書館視察
8月10日	2時間	2	鳥取県立図書館	図書館視察
8月11日	1時間	4	京都府立図書館、慶應義塾大学研究者	図書館視察
8月18日	2時間	7	経済産業省教育産業室	図書館視察
8月18日	1.5時間	1	早稲田大学研究者	図書館調査
8月19日	1時間	1	佐久長聖高等学校	探究学習見学
9月13日	2時間	2	京都橘大学研究者	図書館調査
9月20日	1 時間	40	長野市立篠ノ井東小学校	図書館見学
9月21日	1.5時間	2	新潟県立図書館	図書館視察
9月30日	4時間	7	関東地区公共図書館協議会都県立図書館長会議	図書館視察
10月1日	2時間	3	岩手県立図書館・盛岡大学研究者	図書館視察
11月5日	1.5時間	15	JPICシナノ	図書館視察
11月10日	1時間	64	長野市立城山小学校低学年	図書館見学
11月13日	2時間	20	としょかん実験室(上田市民団体)	図書館視察
1月11日	1時間	9	グリーンヒルズ小学校中学年	図書館見学
1月21日	1.5時間	5	長崎県教育庁	図書館視察
1月21日	1時間	1	お茶の水大学附属図書館	図書館視察
1月26日	1.5時間	6	東京都足立区・区立図書館	図書館視察
1月27日	1時間	7	山口県岩国市図書館	図書館視察
3月1日	3時間	1	宮崎県立図書館	図書館視察
3月10日	1時間	1	名古屋学院大学研究者	図書館調査
3月11日	1時間	1	上田染谷高等学校	探究学習 フィールドワーク
3月22日	2時間	4	犬山市・名城大学研究者	図書館視察
3月24日	1 時間	1	富山大学附属図書館	図書館視察

(6) 職場体験学習・インターンシップ等の受入

ア 職場体験学習等受入

期 日	期 間	人数	相手先	目 的
10月6、7日	2 日	3	豊野高等専修学校	職場体験学習

イ 大学生インターンシップ

期 日	期 間	人数	相手先	目 的
9月22日～	10日間	1	佛教大学	図書館実習
10月5日	10日間	1	盛岡大学	図書館実習

3 調査相談の状況

(1)調査相談の内訳

(単位：件)

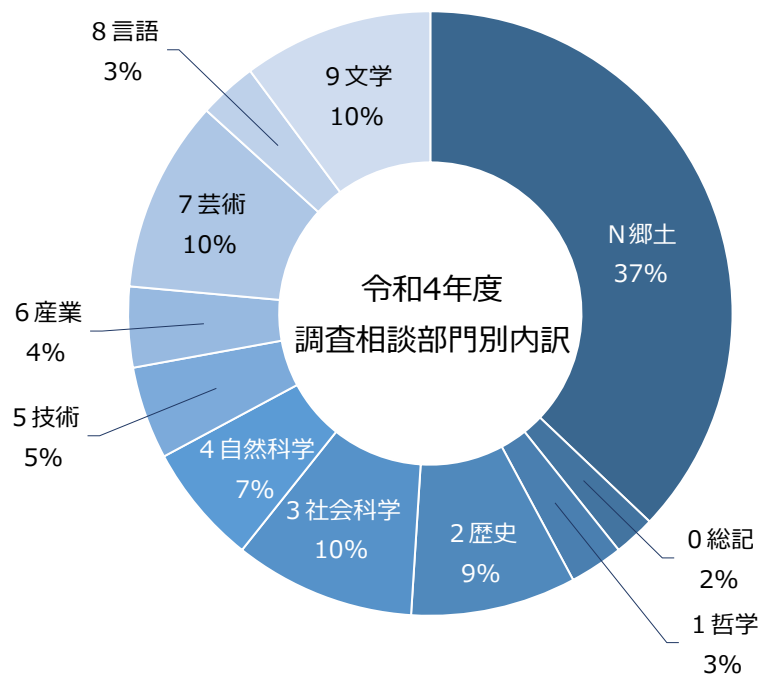
項目		令和4年度					令和3年度				
		口頭	電話	メール	FAX 文書	小計	口頭	電話	メール	FAX 文書	小計
部門別内訳	N郷土	250	93	234	43	620	347	142	237	45	771
	0 総記	32	1	4	0	37	38	17	15	1	71
	1 哲学	37	11	0	0	48	31	15	0	1	47
	2 歴史	119	23	6	0	148	92	18	4	2	116
	3 社会科学	96	47	19	0	162	136	51	11	8	206
	4 自然科学	98	9	1	0	108	117	20	3	0	140
	5 技術	68	14	1	0	83	90	11	2	0	103
	6 産業	61	4	5	2	72	70	12	7	0	89
	7 芸術	98	27	5	42	172	115	22	1	46	184
	8 言語	33	15	4	0	52	23	54	2	0	79
	9 文学	129	34	4	3	170	197	39	8	0	244
	E絵本	120	12			132	107	5	0	0	112
新聞・雑誌		58	62	30	1	151	110	59	5	4	178
利用案内		1,376	2,063			3,439	1,469	2,025	0	0	3,494
合計		2,575	2,415	313	91	5,394	2,942	2,490	295	107	5,834

※N郷土は、N0類～N9類に関する調査の調査件数を合計したもの。

※部門別内訳の0総記～9文学は、一般と児童に関する調査件数を合計したもの。

※新聞・雑誌は、郷土、一般、児童に関する調査件数を合計したもの。

※円グラフには、新聞・雑誌と絵本の調査件数は含まない。



(2) 図書館・行政機関等からのレファレンス件数

令和4年度	令和3年度
69	87

※(1) 調査相談の内訳表の内数

(3) 国立国会図書館「レファレンス協働データベース」登録件数・被参照数

(単位：件)

	令和 4 年度	令和 3 年度	累計 (令和 4 年度末)
登録件数	226	252	1,857
被参照数	383,894	414,942	

※被参照数は、web 上で一般の利用者や他の図書館に検索して見られた件数

※登録件数は一般公開、参加館限定公開、自館のみ公開の区分で登録した事例の合計件数

当館では、レファレンス事例をインターネットを介して多くの方が利用できるよう、国立国会図書館が提供する「レファレンス協働データベース」への登録を積極的に行っている。

この事例登録について、登録数が多い参加館、又はアクセスが多い参加館に贈られる礼状を、昨年引き続き国立国会図書館長からいただいた。

礼状の対象となった項目は次のとおり。(データの公開レベルに応じてポイント化し、基準※を達成)

※基準については「[レファレンス協働データベース](#)」を参照。

- ・年間データ登録ポイント：**1,010** ポイント (全参加館中第 2 位！)
- ・調べ方マニュアルの累計データ登録ポイント：**154** ポイント
- ・年間データ被参照件数：**439,219** ポイント

対象期間：令和 4 年 1 月から 12 月まで

令和 4 年度に寄せられた質問【抜粋】

※文末の () 内数字は「レファレンス協働データベース」での被参照数

郷土に関する質問

「[長野県の特徴「お茶のつぎ足し」は何のため？」](#) (1079)

「[幕末の高遠藩の開産御役所勤務の武士の勤務実態についてわかる資料はあるか。](#)」 (748)

「[上田市にある上田映劇の前身である上田劇場の柿落しが大正 6 年に行われたはずだが、公演の日時、演目を知りたい。](#)」 (769)

一般に関する質問

「[20 年位前にみた文字の段落組が変則的な本を探している。](#)」 (2191)

「[世界で使われている数学の教科書が見たい。](#)」 (633)

「[スイスで使われているドイツ語の辞書はあるか。一般的なドイツ語と違う使われ方や語彙があるらしい。](#)」 (548)

当館のレファレンス協働データベースへ登録した事例の一覧は、県立長野図書館のホームページからご覧いただけます。(<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/collection/reference/index.html>)

または右記 QR コードからでもご覧いただけます。



4 市町村立図書館等との協働、支援

(1) 市町村図書館等運営に関する相談

県内の公共図書館・公民館図書室・学校図書館等と連携し、協働体制を整えた。

また、運営上の様々な相談・図書館設置に向けての助言・提案等を行った。

ア 北信公共図書館連絡協議会職員研修会

令和4年12月22日（須坂市生涯学習センター）

イ 第49回中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会

令和4年9月16日（市立大町図書館）

ウ 第50回中信地区図書館職員及び公民館図書室職員連絡会

令和5年2月14日（朝日村中央公民館）

※市町村図書館等を対象にした研修事業については「5 フォーラム・研修会の開催」に掲載

(2) Facebook ページを活用した情報発信

「県立長野図書館」..... 信州の「図書館のある暮らし」に関する情報発信

「信州発・これからの図書館フォーラム」..... これからの図書館が進む方向についての提案・情報提供

「山に見える図書館—信州のまち・ひと・としょかん」... 県内の図書館に関する情報発信

「信州・学び創造ラボ」..... 県民が主体となる“共知・共創”の場としての活用提案と活動報告

「信州ナレッジスクエア」..... 信州の情報を繋ぐポータルサイトに関する情報発信

(3) 図書館業務関連調査実施及び結果の提供状況

名称	調査期間	対象館	
公共図書館概況調査	令和4年4～6月	120 館	長野県内公共図書館の概況調査 (結果は HP に公開)

(4) 長野県図書館大会企画運営委員会の事務局運営

ア 企画運営委員会の開催 令和4年6月2日

イ 大会実行委員会と連携して、第72回長野県図書館大会を開催 参加者計 606 人

日程 令和4年10月29日（大学専門図書館部会は10月28日、高校図書館協議会は11月11日）

会場 飯田文化会館 + サテライト会場（6会場）

大会テーマ..... 一人ひとりによりそう図書館になろう

第1分科会 読書と人をつなぐために

第2分科会 図書館が、知ること・学ぶことにどう応えられるか

第3分科会 ウィズコロナ対応の変化 ～これまでとこれから～

第4分科会 高校図書館と授業の連携

(5) 長野県図書館協会との連携・協力

ア 公共図書館部会事務局運営による事業実施

(ア) 幹事会の開催 令和4年4月26日 オンライン

(イ) 公共図書館長会議の開催..... 参加者 50 人

令和4年6月3日 須坂市生涯学習センター

(ウ) 長野県図書館大会分科会の運営

令和4年10月29日 (飯田文化会館+6 サテライト会場)

(オ) これからの公共図書館研究会の開催 のべ出席者 108 人

○図書館サービス計画(15 名 2 回)

・サービス計画等の情報共有と、今後の研究会のあり方の検討

○学びのプログラム・学校連携(20 名 2 回)

・発達段階に応じた子どもの読書活動・情報活用教育の体系化を現場と連携して考える

・公共図書館の児童サービスとしての、子どもの学びに資するプログラム事例

○デジタル活用(17 名 2 回 1 回は資料活用・レファレンスと合同開催)

・信州デジタルコモンズに資料作成団体が参加していく上での諸問題の検討

・共同で取り組める情報の組織化に係る作業の検討

○資料活用・レファレンス(24 名 4 回)

・レファレンス技術、ツールの共有と伝達、および資料活用の方策を探る

イ ステップアップ（専門）研修への参加・協力

令和5年1月31日 オンライン

「デジタルと紙のベストミックスで目指す図書館の未来とは？」

(6) その他機関との連携・協力

ア 信州大学附属図書館との連携・協力

平成27年8月に締結した連携覚書に基づき、双方の職員交流研修を隔年で実施

イ 国立情報学研究所教授高野明彦氏との連携・協力

「知のポータル」の構築をはじめとする信州の情報基盤構築に向けて、アドバイスや支援等を受けるための協定を平成30年10月に締結

ウ 株式会社カーリルとの連携・協力

新たな図書館サービスの構築に向けての調査研究等を推進するための協定を平成30年10月に締結

エ 株式会社バリューボックスとの連携・協力

本を使った社会貢献活動や新たなコミュニティの創造等、双方が持つスキルを活用した本をめぐる新しいサービスを実現するための協定を平成31年4月に締結

オ 信州大学教育学部附属次世代型学び研究開発センター・FabLab 長野および株式会社アソビズムとの連携・協力

長野県内のものづくりを通じた創造的な学びのプロセスを整え、共通プラットフォームをつくるための協定を平成31年4月に締結

カ 長野県立美術館との連携・協力

双方が所有する文化資産情報への県民のアクセスを容易にするための協定を令和 4 年 7 月に更新

キ 長野県埋蔵文化財センターとの連携・協力

双方が所有する文化資産情報への県民のアクセスを容易にするための協定を令和 2 年 6 月更新

(旧：平成 29 年 6 月)

(7) 市町村と県による協働電子図書館（デジとしよ信州）

県内 77 市町村と協働して、令和 4 年 8 月 5 日より電子書籍貸出サービス「デジとしよ信州」を開始した。

※詳細は p.22 参照。

5 フォーラム・研修会の開催

(1) 信州発・これからの図書館フォーラム 新シリーズ「共知・共創の広場－もう一歩踏み出す」

期日・場所	内容	講師等	参加者
9/3(土) 県立長野図書館 オンラインハイブリット 13:00～16:00	【信州発・これからの図書館フォーラム】 電子図書館、どう育てる？ ～本の「つくり手」と「よみ手」をつなぐために、私たちができること～	札幌市中央図書館 利用サービス課長 浅野 隆夫 氏 一般社団法人北海道デジタル出版推進協会 代表理事 林下 英二 氏 高森町立高森北小学校・学校司書・子ども読書支援センター 宮澤 優子 氏 松川村図書館長／「デジとしよ信州」選書部会長 棟田 聖子 氏	42
10/15（土） 県立長野図書館 オンラインハイブリット 10:00～17:00	【信州発・これからの図書館フォーラム】 信州の「はたらく」を考える	株式会社コト代表取締役 瀧内 貴 氏 グリーンの学校編集長／「さとのぼ大学」副学長 兼松 佳宏 氏 ゲストハウス・1166 バックパッカーズ 宿主 飯室 織絵 氏 mui Lab 株式会社 Chief Software Architect 小林 豊 氏 合同会社 chioko 今野 由香里 氏／綿引 遥可 氏 県立長野図書館職員 横山 紗央里	10
11/19（土） オンラインハイブリット 14:00～16:00	【信州発・これからの図書館フォーラム】 「一緒に考えてみませんか「地域に役立つ図書館って何だろう!？」」	長野県図書館協会副会長元塩尻市立図書館長 伊東 直登 氏 元秋田県立図書館副館長 山崎 博樹 氏 元文部科学省社会教育課長 神代 浩 氏 飯田市総務部税務課 前飯田市立図書館司書 樋本 有希 氏 長野県野沢南高等学校図書館司書 朝倉 久美 氏	44

(2) 図書館の機能についての一般向け研修・講座

期日・場所	内容	講師等	参加者
7/14（木） 県立長野図書館 10:00～16:00	「令和4年度林業士入門講座」 山村地域で森林を活かし地域の人とともに行動するために必要となる情報と、それを活用するための実践的なスキル獲得	長野県林業総合センター林業専門技術員 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書 畔上 友里 篠田 尚利 佃 笙子 千川 優	5
9/2(金) 長野県 林業総合センター オンライン 9:00～16:00	「令和4年度林業士入門講座」 受講者自身による、森からの情報発信と、フィードバックを得、活用する。	長野県林業総合センター林業専門技術員 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書 畔上 友里 佃 笙子 千川 優	5
11/2(水) 県立長野図書館 オンラインハイブリット 9:00～16:00	「令和4年度林業士入門講座」 プレ発表 森林・林業を軸に地域で生きていくための試み	長野県林業総合センター林業専門技術員 三澤 美菜 氏 県立長野図書館司書 畔上 友里 佃 笙子 千川 優	17
7/9（土） 県立長野図書館 14:00～16:30	「信州・学び創造ラボ」ラボ・デザイン会議 # 11 「共知・共創」の輪をひろげよう	アカデミック・リソース・ガイド株式会社ディレクター 李 明喜 氏 株式会社コト代表取締役 瀧内 貴 氏	34
12/18（日） 県立長野図書館 14:00～16:30	「信州・学び創造ラボ」ラボ・デザイン会議 # 12 ラボでつながる、ラボとつながる	アカデミック・リソース・ガイド株式会社ディレクター 李 明喜 氏 株式会社コト代表取締役 瀧内 貴 氏	12

(3) 階層別及び技能別に実施する研修事業

期日・場所	内容	講師等	参加者
6月～ 視聴研修	「公共図書館職員初任者研修（講義）」	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 槌賀 基範 柳沢 磨三代	40
11/4(金) 県立長野図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 畔上 友里 千川 優	14
11/8(火) 下諏訪町立図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 畔上 友里 千川 優	19
11/9(水) 軽井沢町立中軽井沢 図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 畔上 友里 千川 優	11
11/11(金) 松川村図書館 10:00～16:00	「公共図書館職員初任者研修（レファレンス実習）」	県立長野図書館司書 柳沢 磨三代 畔上 友里 千川 優	10
9月～3月 オンライン	中堅職員育成研修会（これからの公共図書館研究会） ○図書館サービス計画(15名 2回) ○学びのプログラム・学校連携(20名 2回) ○デジタル活用(17名 2回 1回は資料活用・レファレンスと 合同開催) ○資料活用・レファレンス(24名 4回)	県立長野図書館長 森 いづみ 篠田 尚利 金子 明代 佃 笙子 千川 優 槌賀 基範 町田 真弓 柳沢 磨三代 畔上 友里	76
1/31(火) オンライン 14:00～15:30	図書館職員等人材育成研修会（ステップアップ専門研修会） 「デジタルと紙のベストミックスで目指す図書館の未来とは？ ：共に考え、実践につなげよう」	県立長野図書館館長 森 いづみ	44
6/3(金) 須坂市生涯学習 センター + 個人オンライン接続 13:00～16:00	長野県公共図書館長会議 1 話題提供 「ウイズコロナ時代の公共図書館経営を考える」 2 実践報告 「高森ほんとも Web-library 開設から 3 年」 3 パネルディスカッション 「協働電子図書館への期待」 (佐久市・坂城町・大桑村・松川村) 4 ワークショップ 「協働電子図書館、図書館経営にどう活かす？」	県立長野図書館館長 森 いづみ 高森町立図書館司書 大洞 静香 氏 佐久市立図書館館長 依田 緑 氏 坂城町立図書館館長 鈴木 康之 氏 松川村図書館館長 棟田 聖子 氏 大桑村図書館準備室 平中 和司 氏	79

(4) 各地域における図書館職員等研修実施及び連絡会への出席

期日・場所	内容	講師等
6/14 (火) 白馬村保健福祉 ふれあいセンター 15:30～17:00	第 1 回白馬村図書館協議会	県立長野図書館司書 篠田 尚利
8/26(金) オンライン 14:00～16:00	松本市学校司書研修 学校図書館・公共図書館 私たちの仕事の目標とするもの	県立長野図書館司書 千川 優
9/16(金) 市立大町図書館 13:30～15:00	中信地区公共図書館職員及び公民館図書室職員連絡会	県立長野図書館司書 篠田 尚利
9/17(土) 10:00～17:00 小谷村複合拠点施設 おたりつぐら	ウィキペディアタウン in 小谷村	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 篠田 尚利 佃 笙子 千川 優
9/27(火) 13:10～14:10 屋代南高等学校図書館	北信高等学校図書館協議会研修会 電子図書館サービスにおける学校との連携	県立長野図書館司書 千川 優
10/7 (金) 市立大町図書館 13:30～15:00	中信地区公共図書館長会議	県立長野図書館館長 森 いづみ
11/13 (日) 池田町交流センター かえで	池田町図書館開館 40 周年記念講演会	県立長野図書館館長 森 いづみ
12/22 (火) 須坂市生涯学習 センター 3 階ホール 13:00～15:30	北信公共図書館連絡協議会職員研修会 「デジとしよ信州」の選書について	県立長野図書館館長 森 いづみ 県立長野図書館司書 千川 優
2/9 (木) 白馬村保健福祉 ふれあいセンター 15:45～17:00	第 2 回白馬村図書館協議会	県立長野図書館司書 篠田 尚利
2/14(金) 朝日村中央公民館 13:30～15:00	中信地区公共図書館職員及び公民館図書室職員連絡会	県立長野図書館司書 篠田 尚利

6 信州・学び創造ラボ

「共知・共創（共に知り、共に創る）」をコンセプトに、人と人がつながり、共に学びあい、新たな社会的価値が創造されていく場を目指し 2019 年 4 月 6 日に開設。これからの図書館や公共空間のあり方を考える実験室として、また、信州のこれからの学びの姿を試し体感できる場所として運用している。



(1) 各フロアコンセプト

信州情報探索ゾーン – 信州の「知の営み」を体感する

県立長野図書館の前身である信濃図書館時代の蔵書、戦時中に検閲処分を受けた資料などを六角スペース内に展示し、信州の過去と未来をつなぐデジタルな情報源も埋め込む。奥には畳コーナーやカラフルなクッションフロアを設け、利用者の自由な発想を促し、様々な活動に結びつくことを見込んでいる。

Co-Learning ゾーン – 多様な情報や人がつながり、アイデアをかたちにする

ワークショップやミーティングなど、グループでの活動を実現するエリア。PC 接続モニター、ホワイトボード、電子黒板など、対話をその場で可視化しながら共有できる機能を設けた。そこで生まれたアイデアを具体化し、一般利用者の知的好奇心を喚起する設備として、キッチンブースやマイクロライブラリーを設置している。

モノコトベース – アウトプットからはじまる学び

UV プリンターやレーザーカッター等の工作機器を中心に設けたメイカースペース。創造的な学びのプロセスを実感し、アウトプットすることが次の学びにつながる循環の場となることを意図している。個人単位での利用は目的にしておらず、興味・関心が重なる仲間とともにコミュニティをつくり、自由で自立的な空間の形成を目指す。

(2) 主な取組等

空間デザインや運営のあり方について、整備段階から一般参加者と共にワークショップで議論を重ねてきた。オープン後も継続し「ラボ・デザイン会議」「Labo.café」の形で定期開催している。（テーマは毎回異なる）

※はオンラインを含む開催形式（主会場、サテライト会場を含む）

区 分	内 容（令和４年度）
「モノコトベース」 関係の催し	・モノコトベース・オープンデー／ものづくりコミュニティミーティング（月１回） ・利用カードデザインワークショップ（週１回） ・GDG勉強会 ・デザインウィーク 親子 LED 教室
主催・共催企画	・フォーラム②信州の「はたらく」を考える ・林業士入門講座 ・第２回フォーラム「電子図書館、どう育てる？」 ・関東地区公共図書館協議会令和４年度都県立図書館長会議（長野県） ・信州大学講演会「北杜夫『憂行日記』をたどる」 ・長野県図書館大会 ・OverDriveCEO スティーズ・ボタシュ氏講演会 ・第３回図書館フォーラム「地域に役立つ図書館？」 ・ラボカフェ（モノカフェ vol.2（オンラインもくもく会）） ・ラボカフェ（居場所をかんがえる会 高校生×図書館編） ・ラボカフェ（幸せを考える本棚づくりの会）
視察・取材・見学	自治体、図書館および教育機関、テレビ収録等（１２件）

(3) 管理運営等

区 分	役 割
図書館職員	・施設配置、利用方法等の案内や説明 ・利用者同士の交流、利用者による自立的運営を促す機会を提供 ・利用者コミュニティ主催のイベントの開催支援
トレーナー （委託契約）	・ラボ運営の核となる団体を県内各地から新たに発掘 ・人と人をつなぐワークショップの開催 ・利用者コミュニティ主催のイベントの開催支援
利 用 者	・利用者コミュニティの組織化 ・自主的な施設の管理運営方法を検討し実施

7 電子書籍サービス

(1) 県立長野図書館電子書籍サービス

令和 4 年 8 月から、紀伊國屋書店の「KinoDen」による電子書籍サービスを開始した。

(県立長野図書館利用カード所持者が、当館ホームページ内の「マイライブラリー」にログインすることによって閲覧可能となる、リファラ認証方式による。)

令和 4 年度末タイトル数 (a)	645 タイトル
令和 4 年度中閲覧タイトル (b)	434 タイトル
総閲覧数 (c)	2,804 回

利用率 (全コンテンツのうち利用されたコンテンツの割合 b/a)	67.3%
回転率 (1 コンテンツの平均利用回数) (c/a)	4.3 回

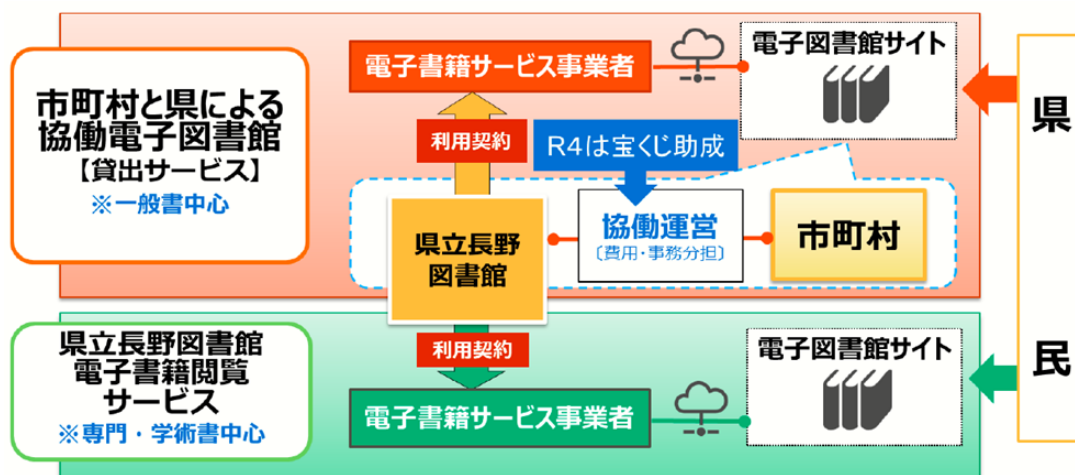
(2) 市町村と県による協働電子図書館 (デジとしよ信州)

令和 4 年 8 月 5 日から、市町村と県との協働による電子図書館サービス「デジとしよ信州」を開始した。

令和 4 年度末 ID 数 (a)	10,780 ID
令和 4 年度末コンテンツタイトル数 (b)	21,195 タイトル※
令和 4 年度末貸出件数 (総閲覧数) (c)	57,551 回

1 ID の平均利用回数 (c/a)	5.3 回
1 コンテンツの平均利用回数 (c/b)	2.7 回

※購入タイトル数



電子書籍サービス全体図

8 新型コロナウイルス感染症への対応について

(1) 基本運営方針

感染拡大防止と社会経済機能との両立を踏まえ、図書館の来館利用にかかる知ることと学ぶことを止めないため、館内における利用・行動の制限と適切な感染防止策により必要最小限のサービスを継続する。

(2) 基本的な感染防止対策の実施

館内におけるマスク着用	・利用者への周知徹底（館内サイン、ホームページ等）
利用者等の手指アルコール消毒	・館内出入口等へのアルコール消毒液の設置
3密の（密閉・密集・密接）の回避	・換気の徹底、ソーシャルディスタンスの確保、CO ₂ 濃度測定器の設置、図書館カウンターの間仕切りシート設置
館内の定期的消毒作業	・共用スペース、サービスカウンター、書籍等
非接触型体温計の設置	・エントランス、各階図書室入口等への常時設置

(3) 感染警戒レベルによる図書館サービスの主な制限内容

貸出・閲覧・検索等の利用制限	・閉館時間の短縮（19時から17時に短縮） ・滞在時間の制限（30分もしくは2時間以内） ・館内イス等の撤去（全部または一部座席の間引き） ・分散利用の奨励（混雑時間の回避）
信州・学び創造ラボ、会議室等の利用制限	・利用の中止（閉鎖） ・利用時間の制限（2時間以内）
館内における飲食	・館内原則禁止 ・飲食可能場所の限定（1階ロビー、中2階） ※ただし、蓋の閉まる飲みもの（水筒等）は除外

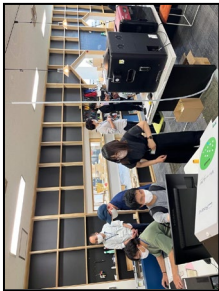
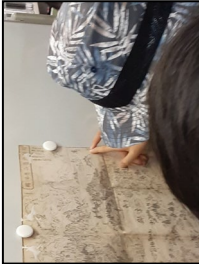
(4) 感染警戒レベルにかかわらず継続する図書館サービス

感染状況により完全休館とせざるを得ない場合も、原則として下記のサービスは継続させる。

- ・電子書籍サービス（デジとしよ信州、KinoDen）
- ・専用窓口によるネット予約貸出サービス
- ・電子申請による利用登録サービス
- ・電子メール等によるレファレンスサービス

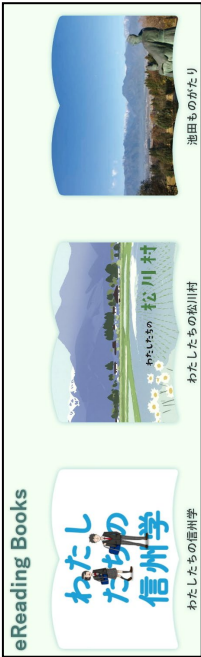
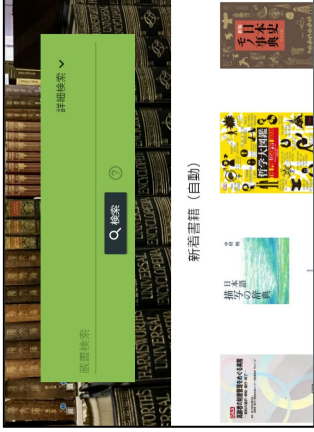
9 令和4年度主要事業実施状況

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(1) 資料・情報 (ア) 長野県唯一の県立図書館の責務として、信州に関する地域資料を網羅的に「収集」し、次世代に確実に継承する「保存」と、資料を最大限活かす「利用」を戦略的にバランスよく行うため、県内外の関係機関との役割分担を行うにつ、蔵書構築のあり方を見直す。 (イ) 利用者自身が課題を見つけ、調べ、解決する力を身に付けることを促す調査・相談（レファレンス）を実施する。 (ウ) 情報アクセス環境の地域間格差是正のため、相互貸借送料支援および全県向けインターネット貸出を実施し、普及させる。 【蔵書整理休館期間中に行った書庫内の配置見直し】	(ア) 電子書籍の導入に伴い、「収集方針」及び「選定基準」について必要な改訂を行なった。 県立長野図書館単独の電子書籍閲覧サービスを導入した。また、「市町村と県による協働電子図書館」（デジとしよ信州）を開始した。（いずれも令和4年8月） 地域資料収集の取組みとして、古書の流通情報を調査し、所蔵のない地域資料（郷土資料）や複本の確保に努めた。 書庫2階で保存している雑誌について、利用状況・今後の増加予想をもとに令和4年5月の蔵書整理休館期間中に配置の見直しを行なった。 (イ) 令和4年度の調査相談件数は以下のとおり。引き続き調べ方を伝える丁寧な調査・相談に努めたい。 【実績】 令和4年度 5,834件 令和3年度 5,394件 (ウ) 令和4年度の相互貸借の状況は、令和3年度と同程度となっている。また、インターネット貸出は令和5年1月末までの貸出件数・冊数が令和3年度年間をすでに上回っている。

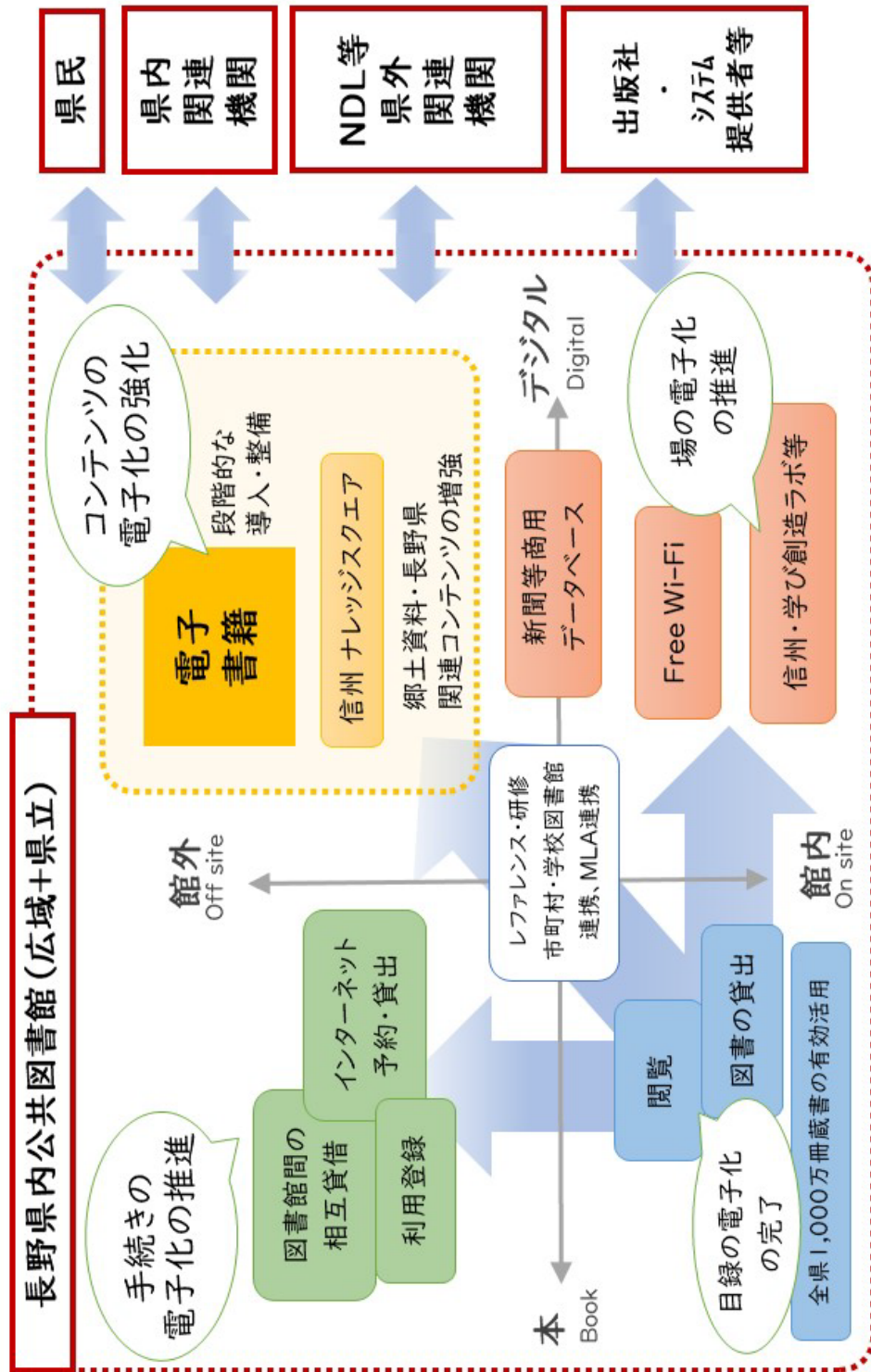
主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(2) 空間の整備と、それに伴う活動の推進 (ア) 「共知・共創」をコンセプトとする「信州・学び創造ラボ」において、県民の主体的活動と学びのコミュニティづくりを促し、これからの公共空間や新たな学びのモデル構築を図る。 (イ) 試行錯誤ができる「学びのツール」として、「モノコトベース」をさらに活用し、コミュニティや関係機関とも協働しながら、新たな学びの仕組みを拡げていく。 (ウ) 実空間と情報空間を融合させ、ICT を活用したコミュニケーションの場を企画・提供する。  【モノコトベース・オープンデー】  【ラボ・デザイン会議 #11】  【Book-Book 交換会 #01】 (エ) 図書館を「新しい出会いと発見が促される場」と捉え、1 階児童図書室、2 階一般図書室における「新しい発見・学び」のプログラムを展開する。  【2 階・一般図書室展示】	(ア) (イ) (ウ) 「信州・学び創造ラボ」の活用やコミュニティ促進を目的としたワークショップとして、以下のイベントを実施した。参加しやすさに配慮し、リアル×オンラインのハイブリッド開催を標準化した。 実施したイベント (R5.3月末まで) 《ラボ・デザイン会議》 #11 テーマ：「共知・共創」の輪をひろげよう #12 テーマ：ラボでつながる、ラボとつながる 《ラボカフェ》 #15 モノコトBase vol.2 (オンラインもくもく会) #16 居場所をかんがえる会 高校生×図書館編 #17 幸せを考える本棚づくりの会 《モノコトベース》 オープンデー (9 回) デジタルライブラリーカードワークショップ (47 回) 《Book-Book 交換会》 #01 マイ"推し本"を語って本を交換しよう! の会 (1 回) (エ) 社会科の授業の一環としての小学生の見学で、社会における図書館の役割や提供する資料の変化について、学びの流れを聞き取りそれに沿った案内を学齢に応じて行った。   【小学生による図書館見学】

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
【1 階・児童図書室展示】	・児童図書室には、体験型の学びができるマイクロスコブ、観察材料を常設し、子どもたちが館内を巡って謎を解くスタイルの分散型プログラムを実施した。室内展示は、入口からの動線を意識しながら多様な問かけ型の棚を構成し、利用者の探究心を引き出すための仕掛けを施している。 ・感染症に対する社会の対応を注視しながら、変化する状況に対応する体験の再開、新たなプログラムの検討を始めた。各図書室と信州・学び創造ラボをつないだ展示・プログラムを展開する等、館全体に知の入口が広がる縦断的なタッチポイントの設計に取り組んだ。
(3) 各県域・分野における県民の学びを支える人材育成支援 (ア) 地域の情報センターとしての役割を果たす人材の育成として、初任・中堅等向けの研修や、共通する課題に取り組み、各館の運営に生かす「これからの共図書館研究会」を開催する。 【レファレンス実習】 【林業士入門講座】	(ア) 図書館職員の中堅研修に位置づける「これからの公共図書館研究会」について、引き続き4部門を設け、県内公共図書館関係者76名が会員登録し、計10回のオンライン研究会を開催した。 現場での課題を持ち寄り、研究・検討し、情報交換を行うプラットフォームとして定着している。オンライン開催方式により、フレキシブルで地域・立場を問わない積極的な参加が実現している。 ・サービス計画 15名 2回 ・学びのプログラム・学校連携 20名 2回 ・デジタル活用 17名 2回（1回は資料活用・レファレンスと合同） ・資料活用・レファレンス 24名 4回 ・初任者研修（レファレンス実習）は、会場館として初めて手をあげていただいた図書館を中心に県内4地区で開催した。（軽井沢町、下諏訪町、松川村、県立長野） ・林業総合センターが実施する「林業士入門講座」との連携により、共知共創の場を認識し、地域の中で継続的に活用していくためのレファレンスプログラムの意義を確認した。（平成29年～） ・社会教育主事講習において、「図書館を利用した学習支援法」を担当した。

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(イ) 県民の学びを創発する機会として「図書館フォーラム」等を開催する。  【第1回『電子図書館、どう育てる?』】  【第2回『信州の「はたらく」を考える』】  【第3回『一緒に考えてみませんか「地域に役立つ図書館って何だろう?』】  【ウィキペディアタウン in おたり村】 (ウ) 長野県における知と学びに関わる各種機関が、信州における価値ある地域資源の共有化をはかり、新たな知識・発信を通して、地域住民の学びを豊かにし、地域創生につなげていくことを目的とした「信州 知の連携フォーラム」を一層推進する。 (エ) 広域単位での公共図書館・学校図書館に対する研修会の開催支援（企画相談、講師派遣・紹介等）や、各地域の会議等への出席を通じて、各地域の活動を後押しする。	(イ) 「これからの公共図書館フォーラム」の新たな展開として、県内外、図書館界外に開かれたテーマを計画、実施。サテライト会場とオンラインを組み合わせたハイブリッド開催方式で、計 100 名ほどが参加した（延べ数）。 開催実績 第 1 回 『電子図書館、どう育てる?』 ～本の「つくり手」と「よみ手」をつなぐために、私たちができごと～」 第 2 回 『信州の「はたらく」を考える』 第 3 回 『一緒に考えてみませんか「地域に役立つ図書館って何だろう?』】 (ウ) 「信州・知の連携フォーラム」第 6 回を実施（当番：長野県立美術館）（テーマ：「資料のデジタルアーカイブ化と公開について-松澤有アーカイブの信州デジタル commons での公開を事例に-」）。イベント後の関係者会議で今後の方向性として、協働体制の継続を確認した。 (エ) 北信、中信、佐久地区の公共図書館連絡会および研修会に出席し、オブザーバー、講師等を務めた。松本市の公共図書館・学校図書館合同研修会では講師として、学校連携に関する情報提供を行った。長野県学校図書館協議会北信地区司書学習会で電子図書館の現状と学校図書館活動への展開について情報提供を行った。 ・白馬村図書館協議会、及び図書館等複合施設検討委員会にアドバイザーとして、佐久市立図書館建替再整備検討委員会に委員として参加した。 ・北アルプス地域振興局による「ウィキペディアタウン in おたり村」を共催し、企画・運営への協力、講師派遣を行った。

主要事業計画	実施状況及び成果、今後の課題等
(4)「長野県 eLibrary 計画」によるデジタル化・ネットワーク化の推進 (ア) 図書館機能の高度化の方策として、目録のデジタル化、手続き・サービスのデジタル化、空間や場のネットワーク化、コンテンツの電子化を強化し、これらを使いこなす学びのネットワーク化を推進する。 (イ) 自ら学び、調べるためのコンテンツとして、レファレンスで多用する資料を優先的に電子化し、「信州ナレッジスクエア」のコンテンツを拡充するとともに、長野県で生産される知的生産物を収集・保存・発信できる仕組みを提供する。  eReading Books わたしたちの信州学 松川村 池田ものごたなり 【信州ナレッジスクエア／ eReading Books】 (ウ) 災害時でも学びが継続できる手段を確保し、図書館利用の地域的・身体的なバリアフリー化を実現するために、ICT による付加価値のある学びのコンテンツとして、「電子書籍サービス」を導入する。   【市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」】 【県立長野図書館電子書籍サービス】	(ア) 外部委託によりデジタル化を実施した当館資料108点について著作権調査を実施。保護期間の満了が確認できたものから公開を行う予定。今後のデジタル化についても、優先順位をつけて取り組んでいく。 ・商用データベースの提供について、利用状況に合わせて見直しを行った。引き続き、利用促進が課題である。 (イ) 「信州デジタルコモンズ」が、様々な分野や地域のデジタルコンテンツを「地域の記憶」として取りまとめているつなぎ役としての活動、多くの連携コンテンツをオープンな利用条件 (CC0) で提供する地域情報の発信と、オープン化推進の活動を評価され、「デジタルアーカイブジャパン・アワード」を受賞。 ・「信州デジタルコモンズ」はPDF文書の掲載が可能となり、市町村の行政文書等の掲載など活用の可能性が広がった。引き続き参加団体の増加に努める。 ・「eReading」は松川村、池田町の2町村の地域学習資料を掲載。 (ウ) 市町村と県による協働電子図書館「デジとしよ信州」及び「県立長野図書館電子書籍サービス」を8月5日に同時スタートした。 ・「デジとしよ信州」運営状況 (R5.3月末時点) 【利用登録者数】10,780名 (全ての市町村に利用登録者がいる) 【蔵書数】計21,195冊 うち、購入(有償) コンテンツ計9,990冊 ※宝くじ助成2千万円を活用 【貸出数】57,551冊 (一日平均約240冊の貸出がある) - 最多貸出年代：40代(21%)、次いで50代(19%)、30・60代(16%) ※夏のデジ田甲子園で5位入賞、「デジタルの日」広報ポスターに採用 ・「県立長野図書館電子書籍サービス」運営状況 (8/5～3/1の実績) 【蔵書数】645冊 うち、9点は企業版故郷納税の寄付により購入 【閲覧数】12,804回 (1冊あたり閲覧平均 4.3回)

「長野県 eLibrary 計画」概念図



Ⅲ 統計資料(令和4年度実績)

1 利用状況

(1) 入館者数及び開館日数

(単位：人)

項 目		令和4年度 (283日)						令和3年度 (279日)	
		平日 (175日)		土日 (97日)		祝日 (11日)			
		利用者数	1 日平均	利用者数	1 日平均	利用者数	1 日平均		
入館者数		287,332	158,219	904	115,734	1,193	13,379	1,216	260,095
参 考	会議・施設見学等※	5,674	4,195	24	1,412	15	67	6	3,951
	一般図書室	81,702	48,373	276	30,375	313	2,954	269	131,002
	児童図書室	68,187	34,101	195	31,172	321	2,914	265	72,407
	信州・学び創造ラボ	67,631	34,899	199	29,404	303	3,328	303	48,371
	会議室	35,056	16,658	95	16,380	169	2,018	183	33,200

注：（ ）内は開館日数。平成23年度から祝日開館実施。（土日の祝日も含む。）

※会議・施設見学等について、オンライン開催含む。

(2) 登録者の状況

(単位：人)

項 目	新規登録者	
	令和4年度	令和3年度
総 数	3,775	2,704
内 一 般	3,129	2,031
内 児 童	646	673

登録者累計（令和4度末）			
	男	女	計
総数	41,797	58,659	100,456
一 般	39,361	55,853	95,214
児 童	2,436	2,806	5,242

インターネットサービス登録者

(単位：人)

項 目	登録者	
	令和4年度	令和3年度
総 数	495	361

登録者累計（令和4度末）		
一般	児童	総数
3,680	175	3,855

※児童は15歳以下、一般は16歳以上

(3) インターネット予約貸出の状況

(単位：件、冊)

項 目	令和4年度		令和3年度	
	件 数	冊 数	件 数	冊 数
当 館 受 取	1,196	2,955	1,170	2,896
指 定 館 受 取	571	1,624	539	1,531
計	1,767	4,579	1,709	4,427

(4) 資料の貸出状況

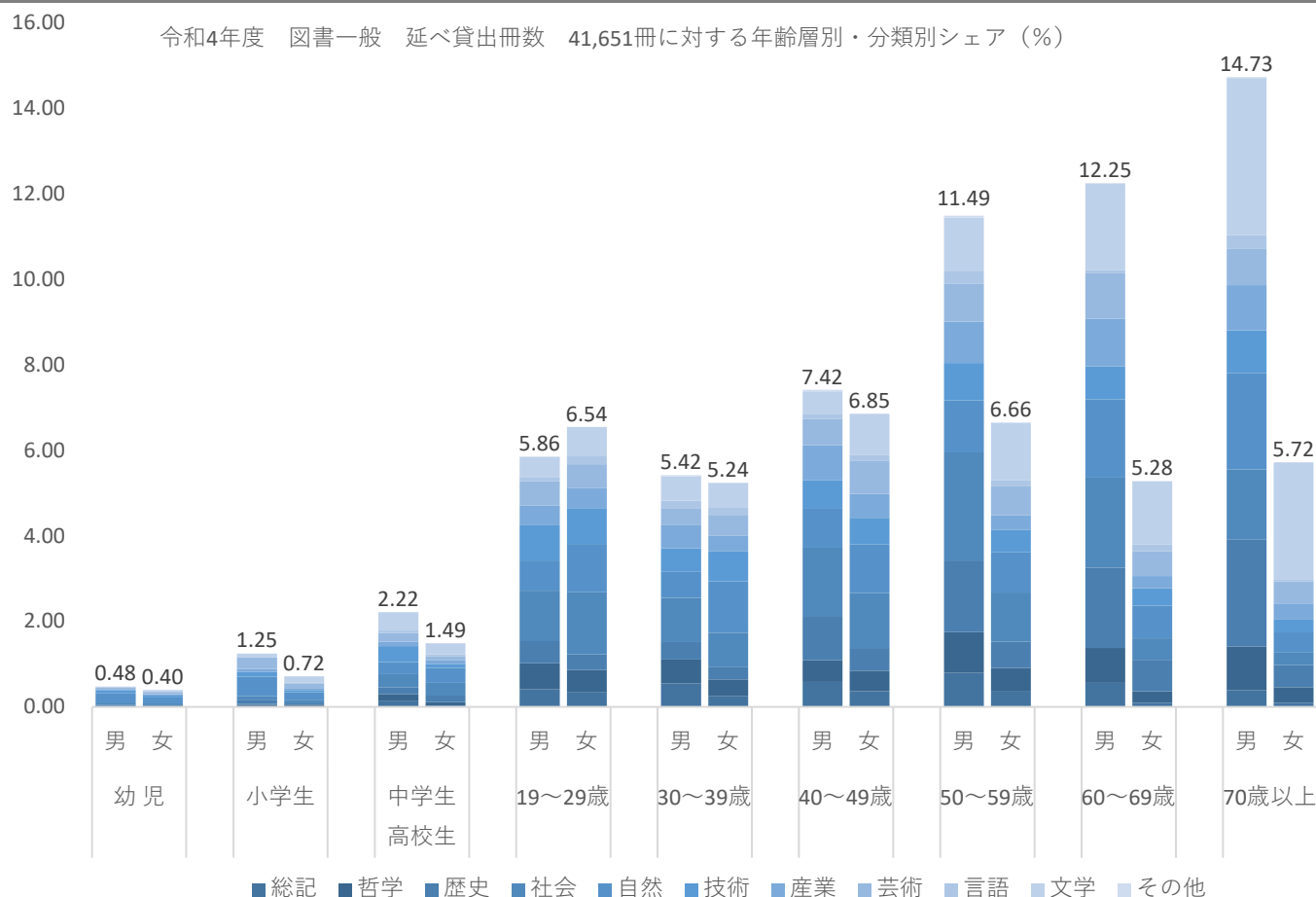
(単位：冊)

項 目	令和4年度			令和3年度		
	一般図書	児童図書	合計	一般図書	児童図書	合計
総 数	41,651	57,610	99,261	45,502	63,510	109,012
0 総記	2,107	357	2,464	2,109	463	2,572
1 哲学	3,066	612	3,678	2,912	656	3,568
2 歴史	4,798	1,297	6,095	5,019	1,376	6,395
3 社会科学	6,856	1,454	8,310	7,363	1,434	8,797
4 自然科学	6,165	4,048	10,213	6,416	4,590	11,006
5 技術	3,675	1,689	5,364	4,461	1,932	6,393
6 産業	3,188	600	3,788	3,195	877	4,072
7 芸術	3,659	2,303	5,962	4,259	2,889	7,148
8 言語	870	697	1,567	836	718	1,554
9 文学	7,193	8,498	15,691	8,841	10,362	19,203
E (絵本)	0	36,044	36,044	0	38,207	38,207
その他	74	11	85	91	6	97

令和4年度 図書一般 延べ貸出冊数 41,651冊に対する年齢層別・分類別シェア

(単位：冊)

		分類											計
年齢	性別	総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	その他	
幼児	男性	5	3	15	19	88	29	7	22	6	5	0	199
	女性	4	7	4	17	58	19	12	26	1	17	1	166
小学生	男性	19	10	41	37	186	46	33	107	8	33	0	520
	女性	7	16	10	36	75	19	12	49	11	63	0	298
中学生 高校生	男性	62	62	68	128	118	154	44	84	24	179	0	923
	女性	13	33	64	123	147	38	35	42	18	107	0	620
19～29歳	男性	170	254	218	489	294	351	183	237	44	194	6	2,440
	女性	146	215	152	603	471	343	199	235	84	275	2	2,725
30～39歳	男性	229	231	171	430	258	227	222	161	79	238	12	2,258
	女性	103	164	124	331	502	290	153	197	75	244	1	2,184
40～49歳	男性	242	213	421	675	378	278	343	257	41	227	15	3,090
	女性	151	201	211	547	473	257	236	325	51	402	0	2,854
50～59歳	男性	334	394	698	1,052	507	365	403	368	119	527	19	4,786
	女性	149	230	254	481	392	220	140	282	57	562	5	2,772
60～69歳	男性	235	339	782	878	760	322	465	442	35	840	4	5,102
	女性	39	114	306	209	319	170	118	242	66	614	1	2,198
70歳以上	男性	160	429	1,043	679	941	418	438	359	131	1,529	8	6,135
	女性	39	151	216	122	198	129	145	224	20	1,137	0	2,381
計	男性	1,456	1,935	3,457	4,387	3,530	2,190	2,138	2,037	487	3,772	64	25,453
	女性	651	1,131	1,341	2,469	2,635	1,485	1,050	1,622	383	3,421	10	16,198
	男女計	2,107	3,066	4,798	6,856	6,165	3,675	3,188	3,659	870	7,193	74	41,651

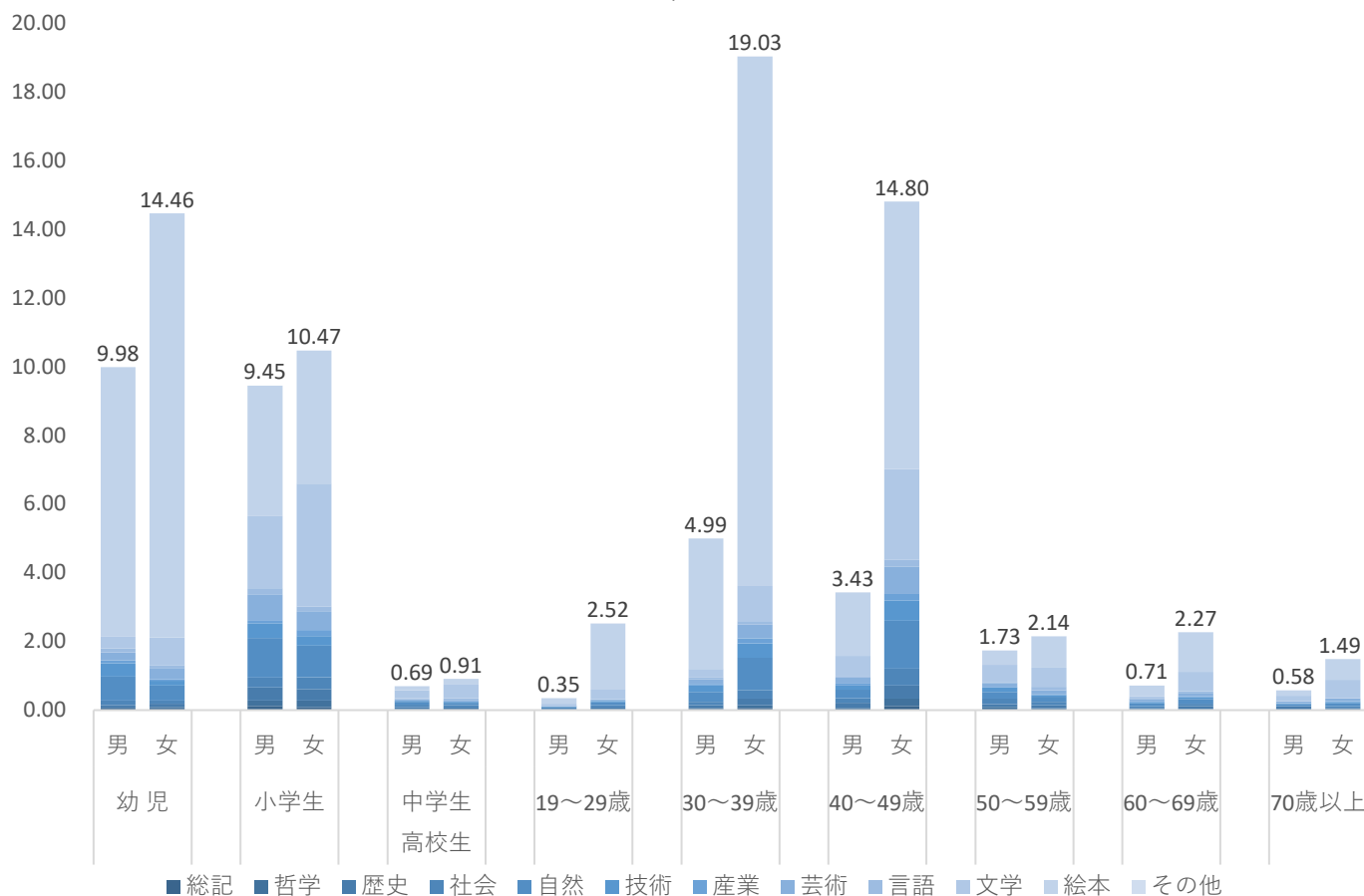


令和4年度 図書児童 延べ貸出冊数 57,610冊に対する年齢別・分類別シェア

(単位：冊)

年齢	性別	分類												計
		総記	哲学	歴史	社会	自然	技術	産業	芸術	言語	文学	絵本	その他	
幼児	男性	27	16	42	74	403	224	47	136	62	197	4,523	0	5,751
	女性	28	27	53	52	252	78	30	188	45	470	7,107	0	8,330
小学生	男性	72	87	221	168	663	238	58	433	101	1,210	2,191	0	5,442
	女性	50	111	194	197	529	160	103	306	88	2,062	2,230	0	6,030
中学生 高校生	男性	2	13	32	46	46	16	3	24	14	136	68	0	400
	女性	5	15	23	41	39	18	1	28	30	240	84	0	524
19～29歳	男性	2	2	5	32	14	3	2	0	2	44	91	2	199
	女性	7	8	30	35	48	22	9	15	7	163	1,106	1	1,451
30～39歳	男性	18	21	47	52	165	112	26	73	34	144	2,185	0	2,877
	女性	40	43	112	143	541	239	85	235	56	586	8,880	3	10,963
40～49歳	男性	8	30	84	75	144	69	33	104	26	338	1,063	0	1,974
	女性	69	121	221	286	799	341	113	453	122	1,519	4,484	0	8,528
50～59歳	男性	8	48	44	93	113	72	15	64	17	288	237	0	999
	女性	10	23	45	62	84	22	17	69	60	322	519	2	1,235
60～69歳	男性	6	12	19	25	50	17	14	44	1	48	175	0	411
	女性	3	13	52	41	78	27	18	57	27	328	661	3	1,308
70歳以上	男性	2	9	47	9	31	15	6	27	1	92	93	0	332
	女性	0	13	26	23	49	16	20	47	4	311	347	0	856
計	男性	145	238	541	574	1,629	766	204	905	258	2,497	10,626	2	18,385
	女性	212	374	756	880	2,419	923	396	1,398	439	6,001	25,418	9	39,225
	男女計	357	612	1,297	1,454	4,048	1,689	600	2,303	697	8,498	36,044	11	57,610

令和4年度 図書児童 延べ貸出冊数 57,610冊に対する年齢別・分類別シェア（％）



(5) 書庫資料の利用状況

(単位：冊)

項 目	令和4年度				令和3年度			
	一般資料	郷土資料	児童資料	合計	一般資料	郷土資料	児童資料	合計
総 数	10,738	6,906	5,401	23,045	11,313	4,718	6,925	22,956
0 総記	224	65	10	299	312	32	17	361
1 哲学	566	47	37	650	579	34	35	648
2 歴史	1,172	1,680	126	2,978	971	1,285	107	2,363
3 社会科学	1,090	434	71	1,595	1,140	604	81	1,825
4 自然科学	470	93	173	736	617	130	273	1,020
5 技術	420	139	99	658	434	96	139	669
6 産業	330	117	44	491	315	139	78	532
7 芸術	621	118	220	959	598	106	265	969
8 言語	112	0	33	145	178	2	37	217
9 文学	2,386	142	1,660	4,188	3,200	123	1,959	5,282
E (絵本)	0	0	2,863	2,863	0	0	3,924	3,924
新聞・雑誌他	3,347	4,071	65	7,483	2,969	2,167	10	5,146

(6) データベースの利用および複写の状況

(単位：人、枚、回)

項 目	令和4年度				令和3年度			
	利用者数	複写枚数	ログイン回数	検索回数	利用者数	複写枚数	ログイン回数	検索回数
電子複写機	2,012	31,616			2,272	29,295		
マイクロフィルム	12	53			7	28		
官報情報検索	11	19	—	—	8	3	—	—
法情報総合データベース	11	12	220	371	16	201	190	218
信濃毎日新聞データベース※1	358	2,241	1,969	23,098	285	3,255	2,139	28,464
朝日クロスサーチ (旧・聞蔵Ⅱ) ※2	77	249	339	—	49	275	334	—
日経テレコン21	44	161	—	—	25	55	—	—
毎索	34	59	146	348	17	50	163	294
ヨミダス歴史館	40	247	72	1,186	24	94	76	856
中日新聞・東京新聞記事データベース	36	31	47	816	39	65	64	969
市場情報評価ナビ	2	0	28	—	0	0	15	—
magazineplus※3					11	41	40	93
J-DreamⅢ	26	723	74	490	27	606	93	496
ジャパンナレッジ	5	9	169	1,234	8	0	173	1,289
ルール電子図書館	4	119	58	195	7	29	43	180
ポプラディアネット※4					36	0	—	—
国立国会図書館デジタルコレクション	135	3,870			102	1,970		
信州デジタルcommons (旧・信州デジくら)	0	0			2	4		
写真撮影	58	—			79	—		
郵送複写	115	4,434			166	5,947		
他館所蔵資料複写取次	22	—			21	—		

※1 令和3年4月から信濃毎日新聞のログイン数と検索回数を記載。※ログイン回数と検索回数は、当館利用者と職員による回数を含む。

※2 ログイン回数はビジー状態を含む。

※利用者数には複写をしていない利用者を含む。

※3 令和3年度末で契約終了。

※4 令和3年度末でサービス終了。

(7) 相互貸借の利用状況

ア 相互貸借の状況

(単位：冊)

区 分		令和4年度			令和3年度		
		貸出冊数	借受冊数	合計	貸出冊数	借受冊数	合計
合 計		3,686	375	4,061	4,221	396	4,617
県 内	公共図書館	1,799	202	2,001	1,432	201	1,633
	公民館図書室	276	0	276	449	0	449
	学校図書館	1,408	45	1,453	2,160	55	2,215
	計	3,483	247	3,730	4,041	256	4,297
県 外	公共図書館	198	123	321	170	122	292
	学校図書館	5	5	10	10	18	28
	計	203	128	331	180	140	320

※相互貸借の対象機関は公共図書館・大学図書館・県内所在の高校図書館・公共図書館未設置自治体における公民館図書室および学校図書館。

イ 送料の支援状況

(単位：件)

区 分		令和4年度			令和3年度		
		貸出件数	返却件数	合計	貸出件数	返却件数	合計
県 内	計	1,182	944	2,126	1,189	977	2,166
	公共図書館	771	620	1,391	692	584	1,276
	公民館図書室	130	82	212	147	91	238
	学校図書館	281	242	523	350	302	652

※公共図書館、図書館未設置町村の公民館図書室及び小・中学校、公立・私立高等学校等、大学は往復送料を当館が負担。

その他の学校図書館は、貸出分の送料を負担している。

※県外の相互貸借の送料については、依頼した施設が送料負担となる。

(8) 団体貸出の利用状況

ア 団体貸出の状況

区分	令和4年度	令和3年度
件数	26	26
貸出冊数	73	41

イ 送料の支援状況

区 分		令和4年度			令和3年度		
		貸出件数	返却件数	合計	貸出件数	返却件数	合計
県内の対象機関		9	0	9	12	4	16

※団体貸出の対象機関は議会図書館・県内博物館及び美術館・病院図書室・長野県の組織及び機関・その他館長が認めた団体。

※令和2年4月より県立長野図書館利用規程を修正、令和元年度の件数等は新利用規程に従って数値を算出したもの。

(9) マイクロフィルムの利用状況

項 目	令和4年度	令和3年度
利用件数	12	7
利用本数	94	35

(単位：件、本)

(10) インターネット端末の利用状況（設置台数 PC:2台 タブレット:8台）

項 目	令和4年度	令和3年度
利用者数	PC 1,151	859
	タブレット 1,464	1,132

(単位：人)

(11) 複製物・デジタルコンテンツ使用の許可状況

図書館資料を複製した場合の2次利用については、令和2年度から当館への申請は不要としている。
「信州デジタルコモンズ」に掲載している当館所蔵資料については、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス 0 (CC0) で提供しており、申請を不要としている。

(12) ホームページのアクセス状況

県立長野図書館のホームページ (<https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>)へのアクセス状況

(単位：件、%)

項 目	令和4年度	令和3年度	対前年度比 (%)
トップページ	194,527	183,767	105.9
県立長野図書館のいま	13,429	13,772	97.5
本・情報をさがす	36,830	32,408	113.6
レファレンスサービス	1,322	1,338	98.8
県立長野図書館をつかう	19,548	17,612	111
利用案内	17,484	13,419	130.3
つながる信州の図書館	12,338	7,253	170.1
信州ナレッジスクエア トップページ	69,486	91,325	76.1
Shinshu Book Search (長野県内図書館横断検索)	139,536	123,476	113
信州デジタルコモンズ	94,742		—

※2020年3月、図書館システム更新およびホームページ変更。

2 図書館資料の状況

(1) 図書資料購入及び蔵書の状況

(単位：冊)

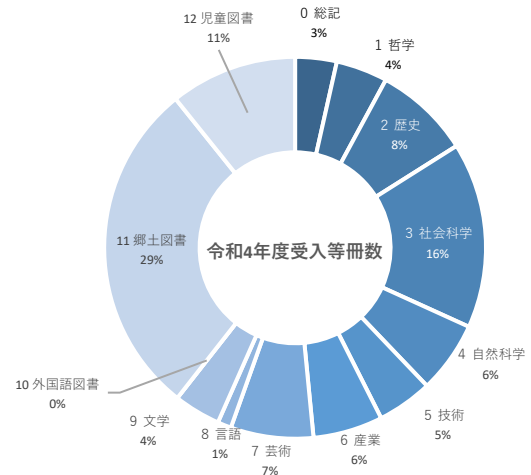
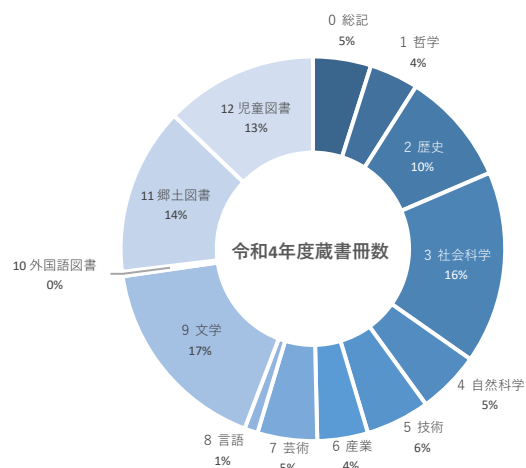
	令和4年度					令和3年度
	蔵書冊数	開架冊数	増加数	受入数	除籍	蔵書冊数
0 総記	37,163	7,655	454	454	0	36,709
1 哲学	31,324	7,603	562	564	2	30,762
2 歴史	72,441	9,003	1,048	1,052	4	71,393
3 社会科学	123,052	13,305	2,030	2,032	2	121,022
4 自然科学	40,010	10,656	783	784	1	39,227
5 技術	40,874	7,959	604	605	1	40,270
6 産業	32,367	5,740	762	762	0	31,605
7 芸術	38,155	7,837	904	904	0	37,251
8 言語	8,532	2,612	149	150	1	8,383
9 文学	128,701	10,862	511	511	0	128,190
10 外国語図書	2,868	0	0	0	0	2,868
11 郷土図書	106,971	13,990	3,675	3,697	22	103,296
12 児童図書	97,530	25,980	1,366	1,389	23	96,164
計	759,988	123,202	12,848	12,904	56	747,140

※10外国語資料は、一般図書と児童図書に分類される資料の合計値。

<令和4年度図書資料の内訳>

(単位：冊)

	一般図書			郷土図書			児童図書		
	購入	寄贈等	除籍	購入	寄贈等	除籍	購入	寄贈等	除籍
0 総記	351	103	0	13	63	0	43	0	0
1 哲学	480	84	2	21	81	0	28	0	0
2 歴史	827	225	4	255	637	0	83	6	2
3 社会科学	1,660	372	2	114	918	13	145	8	0
4 自然科学	737	47	1	43	120	0	165	3	1
5 技術	465	140	1	71	179	0	73	7	0
6 産業	599	163	0	64	229	0	41	6	0
7 芸術	691	213	0	178	292	1	468	44	18
8 言語	136	14	1	3	0	0	24	2	2
9 文学	326	185	0	197	219	8	138	9	0
10 お話会用品	0	0	0	0	0	0	96	0	0
計	6,272	1,546	11	959	2,738	22	1,304	85	23



(2) 新聞・雑誌の所蔵状況

令和4年度受入数

(令和5年3月31日現在) (単位:冊)

項 目	一 般		郷 土		児 童	外国語	計		合計
	購入	寄贈	購入	寄贈	購入	購入	購入	寄贈	
新 聞	13	30	21	30	1	0	35	60	95
雑 誌	135	198	25	366	13	4	177	564	741
追 録	4	0	3	0	0	0	7	0	7

(3) 貴重資料コレクション

近世（江戸時代）の信濃に関する典籍等（主に俳書）が収められています。

名 称	点数	説 明
関口文庫	192	関口彦一郎（1879～1958）収集の信濃関係俳諧書資料で、小林一茶・茂呂何丸・加舎白雄・宮本天姥・倉田葛三・井上井月ら信濃の代表的俳人及び善光寺俳壇の俳書を収める。
威徳院文庫	76	林亮順（1868～1941）が収集した信濃関係俳書を収める。宮本天姥・倉田葛三・今井柳莊をはじめ、主として長野県北信地方の俳人の俳書が集められている。

(4) マイクロフィルム等の所蔵状況

新聞・郷土資料などをマイクロフィルム化することにより、原資料の劣化を防ぎ、閲覧や複写サービスの向上に努めています。

（＊マイクロフィッシュは、シート状のフィルムに関係資料が撮影されたものです。）

(令和5年3月31日現在)

		資 料 名	所 蔵 内 容	フィルム数
マ イ ク ロ フ ィ ル ム	新 聞	信濃毎日新聞	明治6年7月 ～ 平成25年12月	1,535
		” (欠号集)	明治8年5月 ～ 昭和27年12月	15
		朝日新聞	明治21年7月 ～ 平成25年12月	2,128
		” (長野県版)	昭和28年1月 ～ 平成25年12月	106
		毎日新聞	明治5年2月 ～ 平成25年12月	2,159
		” (長野県版)	昭和2年1月 ～ 平成25年12月	135
		読売新聞	明治7年1月 ～ 平成25年12月	1,830
		” (長野県版)	昭和8年5月 ～ 平成25年12月	151
		” (欠号集)	明治7年12月 ～ 昭和20年12月	38
		長野新聞	明治32年4月 ～ 大正9年12月	45
		小 計		8,142
	郷 土	信濃教育	第1号（明治19年10月）～ 第780号（昭和26年12月）	33
		長野県統計書	明治6年 ～ 昭和12年	22
		府県資料長野県		3
		東大明治新聞雑誌文庫所蔵 長野県関係（明治大正）マイクロ版		31
		石坂家文庫		14
		内閣文庫所蔵筆記		1
		国文学資料館蔵関口文庫		8
		国文学資料館蔵威徳院文庫		2
		丸山文庫		59
		飯島文庫		19
		農商務省小作慣行調査報告	<中部編1> 長野県	14
		日本林制史調査資料	中部 松代藩 1 ～ 5	5
		花月文庫		287
		明治年間府県統計書集成	明治8年 ～ 明治45年	10
		大正・昭和年間府県統計書集成	大正2年 ～ 昭和13年	12
		小 計		520
	そ の 他	太政官日記	慶応4年 ～ 明治 9年	11
		官報	明治16年 7月 ～ 平成25年12月	1,600
		信濃教育会図書館時代 特殊収集近世資料	国文学資料館所蔵分	10
		小 計		1,621
	合 計			10,283
フィッシュ	郷 土	プランゲ文庫雑誌コレクション 長野県関係	昭和20年 ～ 昭和24年 275タイトル	1,011

(5) 16ミリ映画フィルムの所蔵及び貸出状況

<所蔵及び貸出状況>

(単位:本)

項 目	所蔵状況		貸出状況	
	令和3年度	令和4年度	令和3年度	令和4年度
16ミリ映画フィルム	2,260	2,260	0	5
ビデオテープ	3,036	3,036	0	0
DVD	179	179	0	3
合計	5,475	5,475	0	8

※県内所在の団体を対象に貸出（個人貸出不可）。1回の貸出点数は5点まで、貸出期間は10日間。

IV 県立長野図書館協議会

1 概 要

県立長野図書館協議会は、図書館法第 14 条及び県立長野図書館条例第 3 条の規定により設置され、図書館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、図書館サービスについて意見を述べる。

2 令和 4 年度開催状況

○令和 5 年 3 月 2 日(木)

会議事項 コロナ禍における運営・利用状況
 令和 4 年度主要事業について
 デジとしよ信州について
 令和 5 年度予算について
 総合計画等の策定状況、中期目標について

3 委員名簿（令和 5 年 3 月 31 日現在）

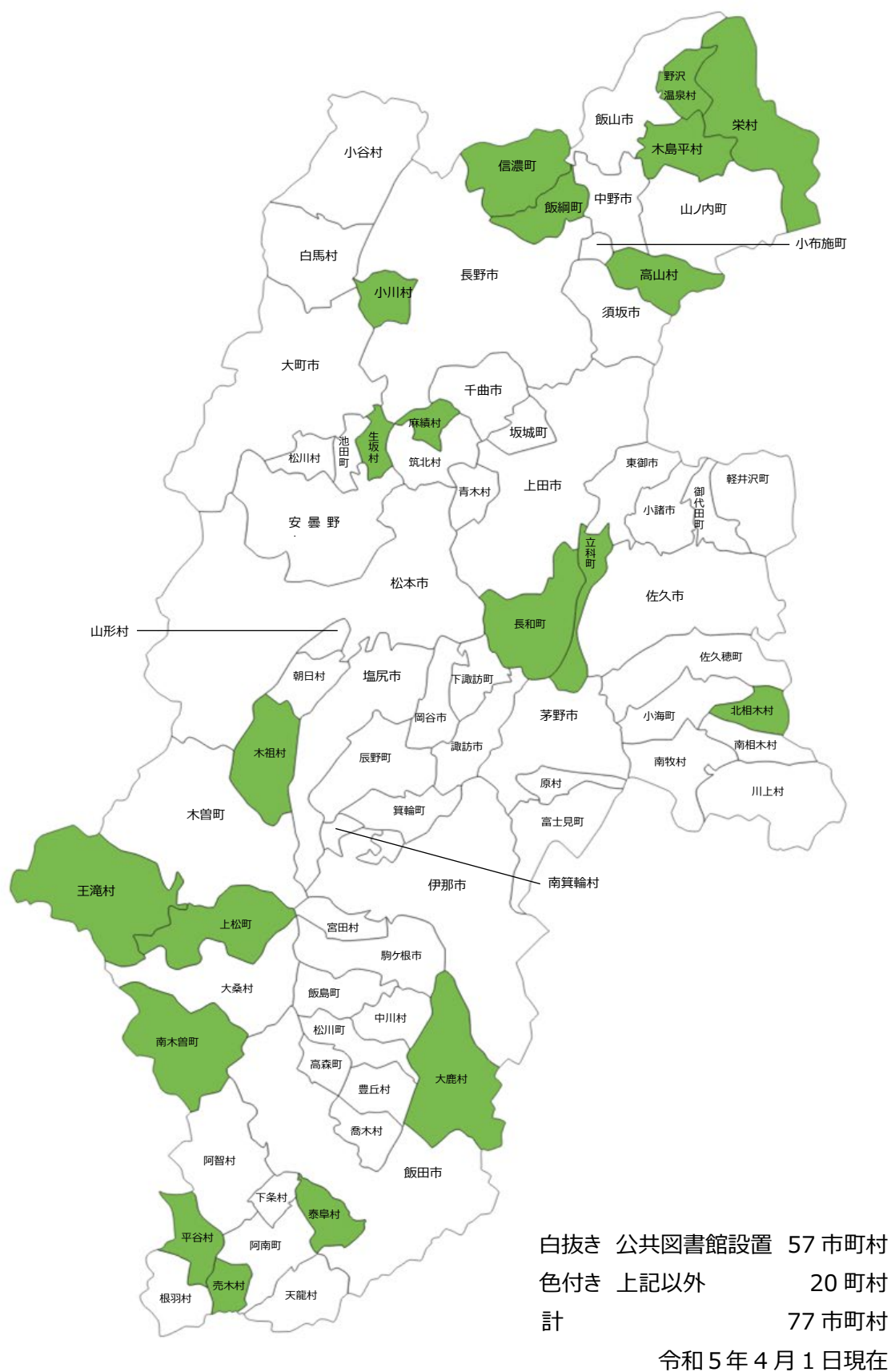
（敬称略、五十音順）

職	氏 名	所 属 ・ 職 名 等
会長	渡 邊 匡 一	信州大学人文学部 教授
委員	内 山 由香里	長野県伊那北高等学校 教諭
	大 林 晃 美	N P O 法人本途人舎 代表理事
	春 日 由紀夫	駒ヶ根市立東伊那公民館 館長
	田 川 圭 子	ライター、ナレーター
	田 中 一 樹	NPO法人 職員
	西 山 卓 郎	株式会社バリューボックス 社員
	平 賀 研 也	日本大学芸術学部 非常勤講師
	松 山 佳奈子	ゆめサポママ@ながの メンバー
	棟 田 聖 子	松川村図書館 館長

（任期 令和 5 年 1 月 1 日から令和 6 年 12 月 31 日まで）

V 資料

1 長野県の図書館等設置状況



2 県立長野図書館の沿革

和暦	西暦	月	
明治40	1907	6	信濃教育会により信濃図書館が設置される
大正13	1924	12	信濃教育会による明治44年以來の県立図書館設置運動が実り、臨時県議会において昭和天皇御成婚記念事業として県立図書館設置が可決
昭和 4	1929	8	長野市長門町に県立長野図書館開館（工費24万円、3階建、延べ床面積2,397.78㎡） 信濃図書館の蔵書のほとんどが寄贈される 開館当初から個人貸出を行う
昭和 7	1932		「団体携出」の名称で、官公署・学校等へ団体貸出を開始（昭和26年発展的解消）
昭和 8	1933	10	改正図書館令により、長野県の中央図書館に指定される
昭和 9	1934	6	「県立長野図書館報」創刊（昭和19年に数回の改題を経て終刊）
昭和11	1936		県下青年を対象とした貸出文庫を設け、県内へ発送を始める
昭和14	1939	12	『県立長野図書館10年史』刊行
昭和18	1943	11	帝国図書館の蔵書疎開が行われ、約133,400冊もの貴重な資料が翌年まで当館に保管される （昭和21年3月返戻）
昭和20	1945	3	書庫・事務室・館長室以外を長野高等女学校の学校工場（陸軍被服廠縫製工場）に使用するため、館内閲覧中止（翌昭和21年4月再開）
昭和24	1949	11	「第1回長野県図書館普及運動」を開催
昭和25	1950	12	「県立長野図書館条例」公布施行 「PTA母親文庫」を創設
昭和26	1951	3	図書館協議会が発足 「第1回長野県図書館大会」開催（上田市）
昭和34	1959	9	「本を読む母親の全国大会」開催（長野市）
		11	創立30周年、『県立長野図書館三十年史』刊行
昭和36	1961	10	2課制から4課制になり、調査相談課が設置される
昭和37	1962	3	新書庫が建設され、収容冊数が7万冊から約15万冊へ増加する
昭和39	1964	9	小冊子『調査相談の事例』刊行、配布
昭和42	1967	9	複写サービスを開始 マイクロフィルムを導入
昭和44	1969	10	「全国図書館大会」開催
昭和52	1977	10	『長野県郷土資料総合目録』を刊行
昭和54	1979	8	創立50周年、長野市若里へ新館を建設し移転 工費16億7千万円、地下1階地上3階建、延べ床面積8,614㎡ 旧館の魯桃桜9本も移植される
昭和56	1981	2	『県立長野図書館五十年史』刊行
平成 3	1991		館内改修工事を行い、郷土資料室を解体し閲覧室に資料を移動、空いた元郷土資料室は貸出室・親子読書室へ変更
平成 5	1993	3	電算システム導入（受入、貸出、検索、資料情報管理等）
平成 6	1994		古文書約15,000点を長野県立歴史館へ移管
平成12	2000		「第30回児童に対する図書館奉仕全国研究集会」開催
平成13	2001		コイン式コピー機を導入
平成14	2002	2	当館ホームページ開設、WebOPAC（インターネット上の蔵書検索）稼動
平成15	2003	2	「PTA母親文庫」を改めた「長野県PTA親子読書推進の会」発足（平成26年3月31日解散）
平成16	2004	2	外国籍住民のための外国語資料（ブラジル・中国・韓国・フィリピン・タイ）の受入・貸出を開始
		5	組織改正が行われ、4課制（総務課・整理課・調査閲覧課・貸出視聴覚課）から3課制（総務課・企画協力課・資料情報課）となる
		5	移動絵本図書館車「おはなしばけっと号」を導入（平成21年事業終了）
		7	貸出対象図書を27万冊から47万冊へ拡大し、児童図書室、一般図書室を設置

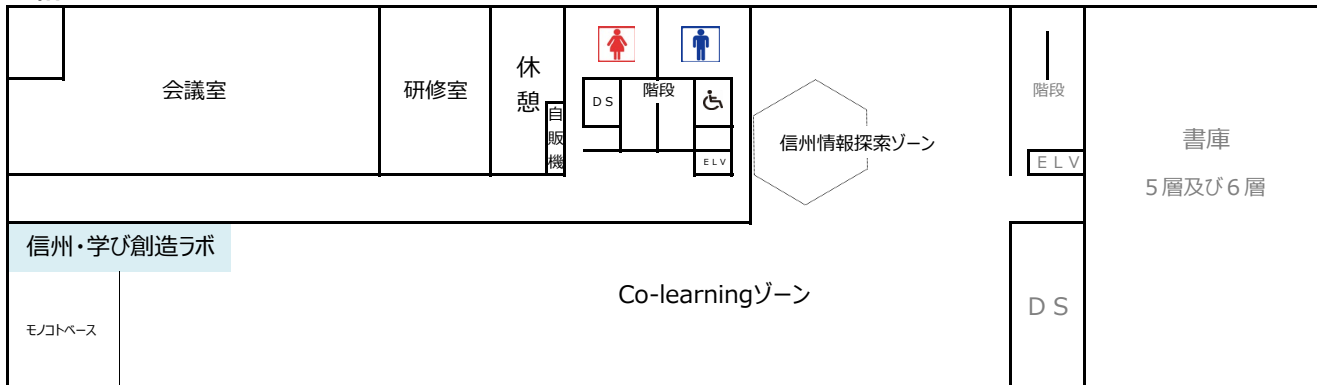
和暦	西暦	月	
平成17	2005	4	国立国会図書館「レファレンス協同データベース事業」へ本格参加
平成18	2006	2	『県立長野図書館メールマガジン』創刊（平成28年1月配信停止）
		6	「信濃毎日新聞アーカイブス」（現「信濃毎日新聞データベース」）導入
平成19	2007	12	「官報情報検索サービス」導入
平成21	2009	3	インターネット予約貸出サービス開始
			長野県内公共図書館横断検索システム導入
		9	耐震診断実施
平成22	2010	4	「コーラル文庫」開設（平成29年児童室改修に伴い分散配架）、「信州デジくら」運用開始
平成23	2011	4	祝日開館を試行実施
			「第一法規判例体系データベース」（現「法情報総合データベース」）導入
		12	館内の冷暖房設備を全面改修
平成24	2012	4	祝日開館を実施
		6	「関東地区公共図書館協議会総会及び研究発表大会」開催
平成26	2014	1	「国立国会図書館デジタル化資料送信サービス」導入
平成27	2015	2	耐震工事（7月まで）
		4	図書館改革のため、館長を任期付職員で登用
平成28	2016	6	新聞雑誌スペースを研修・ワークショップスペースに改修
			「聞蔵II(朝日新聞データベース)」「日経テレコン21」導入
平成29	2017	6	「ルーラル電子図書館」、「magazineplus」(令和4年3月末契約終了)、「ジャパンナレッジ」、「毎索」、「J-DreamⅢ」、「ヨミダス歴史館」、「ポプラディアネット」（令和4年3月末サービス終了）、「市場情報評価ナビMieNa」導入
		8	外壁改修工事（12月まで）
		10	「ネーミング・ライツ・パートナー(株式会社内田洋行)」の導入及び「知識情報ラボUCDL(ウチデル)」のオープン（令和2年9月終了）
平成30	2018	3	床・階段改修、児童図書室改修（リニューアル）
		4	「中日新聞・東京新聞記事データベース」導入
平成31	2019	3	児童図書室に体験・発見コーナー設置（子どもの未来支援基金活用）、一般図書室書架・空間等の大規模リニューアル
		4	「信州・学び創造ラボ」の開設、児童図書室にて体験遊具(ストライダー等)の貸出開始
令和元	〃	11	「Library of the Year 2019」優秀賞受賞
令和2	2020	4	信州・知のポータル「信州ナレッジ・スクエア」を開設
令和3	2021	4	3課制（総務課・企画協力課・資料情報課）から2課4係制（総務企画課・資料情報課）へ組織変更、副館長配置
			閉架書庫棟6階整備工事竣工
令和4	2022	8	県内77市町村と協働して電子書籍貸出サービス「デジとしよ信州」を開始
			紀伊國屋書店の「KinoDen」を使用して「県立長野図書館電子書籍サービス」を開始
		8	「デジタルアーカイブジャパン・アワード」を「信州デジタル commons」が受賞

参考資料：『県立長野図書館三十年史』『県立長野図書館五十年史』『県立長野図書館概要 昭和62年度～令和4年度』

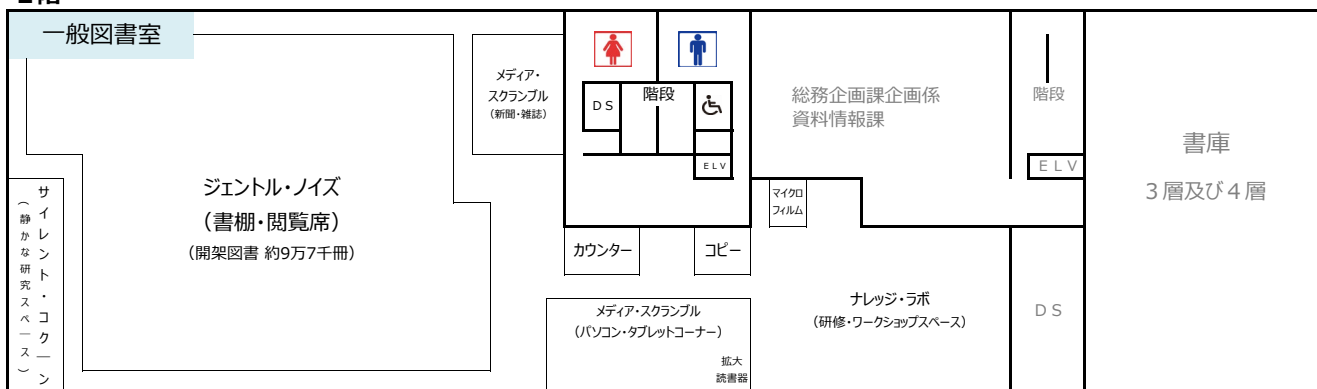
3 施設概要

所在地	長野市若里1丁目1番4号
開 所	昭和54年（1979年）8月(移転新築) ※昭和4年（1929年）8月設置
敷 地	6,152㎡(建物区画4,243㎡ 利用者駐車場1,909㎡（80台（うち障がい者等用3台））
建 物	R C(地上3階地下1階) 8,681㎡（本館8,614㎡、公用車庫67㎡）

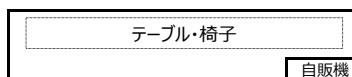
3 階



2 階



中 2 階休憩室



1 階



地階



4 利用案内

(1) 開館時間

階	施設名	土・日・祝日	火～金曜日
1 階	児童図書室	9:00～17:00	
2 階	一般図書室	9:00～17:00	9:00～19:00
3 階	信州・学び創造ラボ	9:00～17:00	9:00～19:00
	会議室（供用）	9:00～17:00	9:00～19:00

(2) 休館日

- ・定例 毎週月曜日（祝日（振替休日）と重なる場合も休館。）
- ・蔵書整理日 毎月最終金曜日（祝日の場合は前日の木曜日。）
- ・蔵書点検期間 5月16日～5月31日
- ・年末年始 12月28日～翌年1月4日

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、利用を制限することがあります。



《お問い合わせ等》

〒380-0928 長野市若里 1-1-4

URL : <https://www.knowledge.pref.nagano.lg.jp/index.html>

E-mail : ken-tosho@library.pref.nagano.jp

- 資料情報課 貸出延長、ネット貸出、相互貸借、レファレンス、寄贈受付、県立長野図書館電子書籍サービスほか

TEL : (026)228-4921 FAX : (026)291-6252

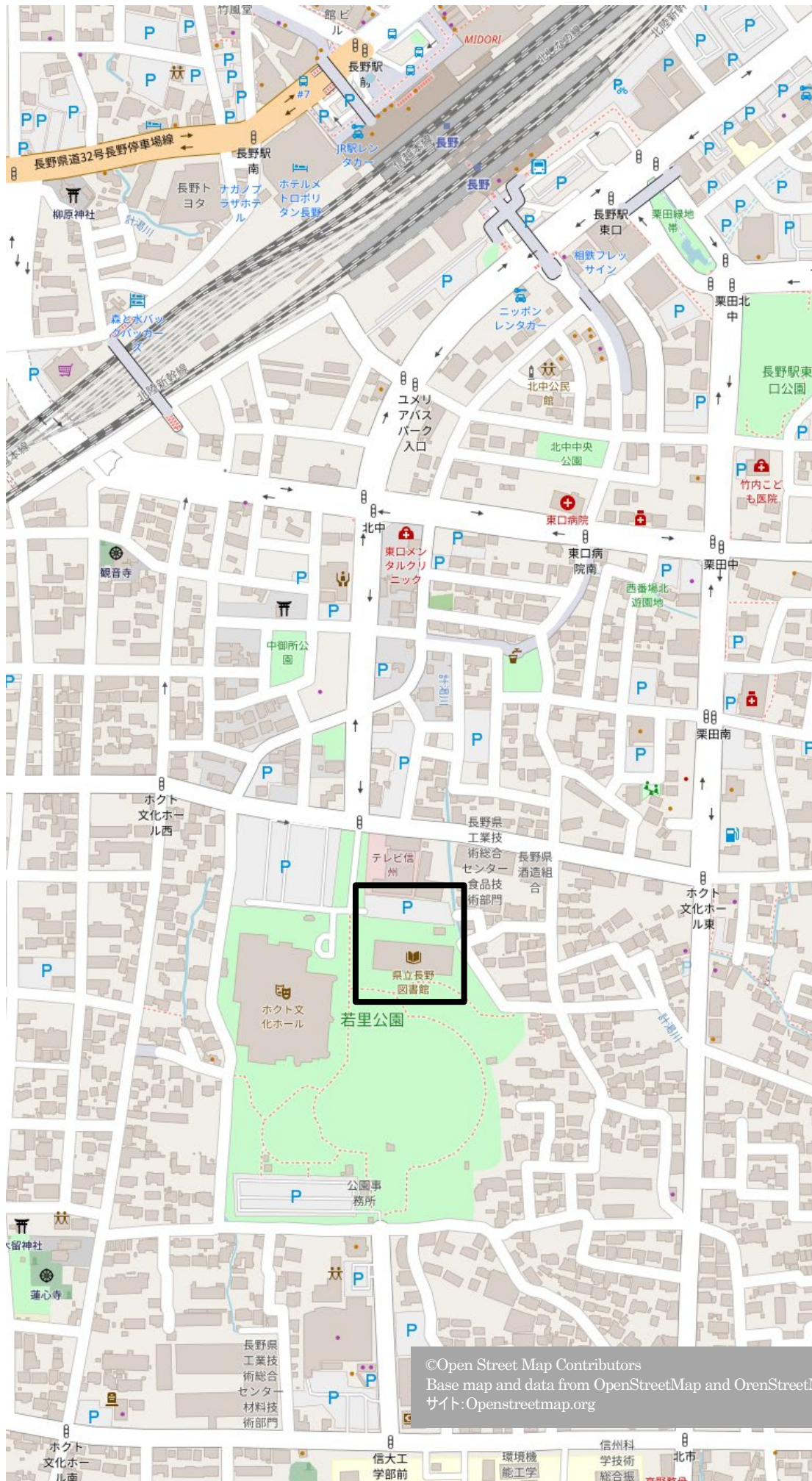
- 総務企画課 総務係 総合案内、予算、庶務、施設管理ほか

TEL : (026)228-4500 FAX : (026)228-4933

企画係 図書館連携、研修事業、信州・学び創造ラボ、デジとしよ信州ほか

TEL : (026)228-4939 FAX : (026)291-6252

案内図



©Open Street Map Contributors
Base map and data from OpenStreetMap and OpenStreetMap Foundation
サイト: [Openstreetmap.org](https://www.openstreetmap.org)